



中津川市スポーツ推進計画

中間見直し

スポーツで人と地域が
かがやくまち なかつがわ

令和3年3月

中津川市

はじめに

スポーツで人と地域が かがやくまち

を目指して



スポーツの魅力は、多くの人に感動や楽しみ、活力をもたらす世界共通の人類の文化の一つであり、私たちの「こころ」と「身体」の健全な発達を促すものであるとともに、明るく豊かで活力に満ちた社会の形成に大きく関与するものです。また、スポーツ活動は、次代を担う青少年の健全育成や働く世代の健康づくり、高齢者の体力づくりや健康増進を図るものです。更には、福祉・医療費の抑制や地域コミュニティの形成と活性化を促進するなどの役割も期待されています。

本市では『スポーツで人と地域が かがやくまち なかつがわ』を基本理念として「中津川市スポーツ推進計画（平成 27 年度～令和 8 年度）」を策定し、自身が身体を動かして行う「するスポーツ」、スポーツ観戦などの「みるスポーツ」、コーチ・審判・スポーツボランティアなどの「ささえるスポーツ」に携わる人の増加や、楽しく身体を動かすレクリエーションスポーツ及び体力の維持増進を目的とした運動の推進など、誰もがスポーツを通じて健康と生きがいつくりに取り組みめる環境の整備に努めてまいりました。

国においては平成 29 年に「第 2 期スポーツ基本計画」が策定され、一億総スポーツ社会の実現に向けてスポーツ参画人口拡大の取り組みが進められています。中津川市においても国や県その他の関連計画との整合性を図り、「中津川市スポーツ推進計画」の中間年となる令和 2 年度に社会情勢や市民の意向等の変化を踏まえて計画の見直しを行いました。

今後は、この計画の基本方針である「生涯にわたるスポーツ活動の推進」「スポーツを通じた地域づくりの推進」「スポーツに親しむことのできる環境の整備」を推進し、基本理念『スポーツで人と地域が かがやくまち なかつがわ』の実現に向けて取り組みを進めます。

この計画が今後のスポーツ推進を図るうえでの指針となり、関係諸団体はもとより広く市民の皆様にご理解をいただくとともに、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本計画の策定にあたりご尽力を賜りました中津川市スポーツ推進計画策定委員の皆様をはじめ、貴重なご意見をいただきました関係諸団体様、アンケート調査やパブリックコメントにご協力いただきました市民の皆様にご心から御礼申し上げます。

令和 3 年 3 月

岐阜県 中津川市長

青山 節児

目次

第1章 計画の策定にあたって	1
1 現代社会におけるスポーツの意義	1
2 計画策定の趣旨	2
第2章 計画の概要	3
1 計画の位置づけと他の計画等との関わり	3
2 計画の期間	3
3 国、県の動向	4
4 計画で扱うスポーツの定義	5
第3章 中津川市の現状と課題	6
1 統計から見る中津川市の現状	6
2 アンケート調査から見るスポーツの状況	14
3 団体ヒアリングから見るスポーツの状況	36
4 中津川市スポーツ推進計画の推進状況	44
第4章 計画の基本的な考え方	48
1 基本理念・数値目標	48
2 基本方針	49
3 施策体系	50
第5章 具体的施策の展開	53
基本方針1 生涯にわたるスポーツ活動の推進	53
基本方針2 スポーツを通じた地域づくりの推進	61
基本方針3 スポーツに親しむことのできる環境の整備・充実	64
第6章 計画の推進に向けて	70
1 計画の推進体制	70
2 計画の評価	70
資料編	71
1 計画の策定経緯	71
2 計画の策定体制	72
3 アンケート調査票	73



第 1 章 計画の策定にあたって

1 現代社会におけるスポーツの意義

わが国では、情報化やグローバル化の進展に伴って国際的な協力・交流が活発になる一方で、少子高齢化や市民の価値観・ライフスタイルの多様化によって、地域社会の空洞化や人間関係の希薄化が進んでいます。

平成 23 年 3 月に発生した東日本大震災は多くの人命を奪い、国民生活に未曾有の被害をもたらしました。現在も復旧・復興が課題となっていますが、復興には全国から多くのボランティアが参加し、各地では義援金活動が行われるなど「社会の絆」の重要性が改めて認識されました。

一方で、令和元年に確認された新型コロナウイルス感染症は世界中に拡大し、市民活動や経済活動に大きな影響をもたらしました。

このような社会環境の中では、次代を担う子どもたちが他者との協働や公正さと規律を学びながら育つこと、人々が生きがいを持ち、健康で長寿を享受できること、そして、人々が深い絆で結ばれた地域社会が健全であり続けることがますます重要になっています。

スポーツは、体力の向上やストレスの解消などの心身の健康増進につながるだけでなく、年齢や性別、障がいの有無、言葉や生活習慣の壁を越え、お互いを認め、尊重し合うことにもつながります。また、スポーツに懸命に打ち込む姿や大きな目標を達成した姿などは、観る者にも感動や興奮をもたらすスポーツへの関心を高めるだけでなく、アスリートを輩出した国や地域への愛着や誇りを育みます。

このように、心と身体の健全な発達を促し、人生をより充実したものとするとともに、明るく豊かで活力に満ちた社会の形成に寄与するものとして、スポーツに大きな期待が寄せられています。

2 計画策定の趣旨

国においては、平成 22 年に「スポーツ立国戦略」が策定されました。平成 23 年には「スポーツ振興法」が 50 年ぶりに改正され、新たに「スポーツ基本法」として制定されました。

「スポーツ基本法」では、スポーツは世界共通の人類の文化であり、スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことが人々の権利であることが示されています。さらに、平成 24 年には「スポーツ基本法」を実現するための「第 1 期スポーツ基本計画」が策定され、年齢や性別、障がいの有無を問わず、広く人々が関心、適性等に応じてスポーツに参画することができる環境を整備することを政策課題としています。その後、平成 29 年に策定された「第 2 期スポーツ基本計画」では、スポーツ参画人口を拡大し、他分野との連携・協力により「一億総スポーツ社会」の実現が目指されています。また、令和 3 年には東京オリンピック・パラリンピックの開催が予定されていることから、スポーツへの関心は今まで以上に高まっています。

岐阜県においては、平成 17 年に「ぎふスポーツ振興計画」が策定され、スポーツ王国・ぎふの実現が目指されてきました。平成 27 年には、新たに「清流の国ぎふスポーツ推進計画」が策定され、スポーツ立県・ぎふの実現を目指し、スポーツに関する幅広い取組が推進されてきました。また、令和 3 年 1 月にはぎふクリスタル国体 2021 が開催され、岐阜県は一層のスポーツ活動の推進に努めています。

本市では、平成 27 年に「中津川市スポーツ推進計画」（以下、本計画と言う。）を策定し、個人、団体等が自主的なスポーツ活動を推進するための支援や施設の充実を図るとともに、スポーツ活動を通じた地域コミュニティづくりを進めてきました。また、市民のそれぞれのライフステージにおけるスポーツ活動の推進、障がい者のスポーツ活動推進のための環境の充実、総合型地域スポーツクラブの支援など、一市民 1 スポーツによる健康づくりに努めてきました。

このたび、平成 27 年に策定した「中津川市スポーツ推進計画」が中間年を迎えることから、これまでのスポーツ推進の取組を評価・見直し、スポーツを通じて市民一人ひとりが健康で幸せに暮らせるまちをつくるために、国や県、その他関連計画との整合を図りながら本計画の見直しを行います。

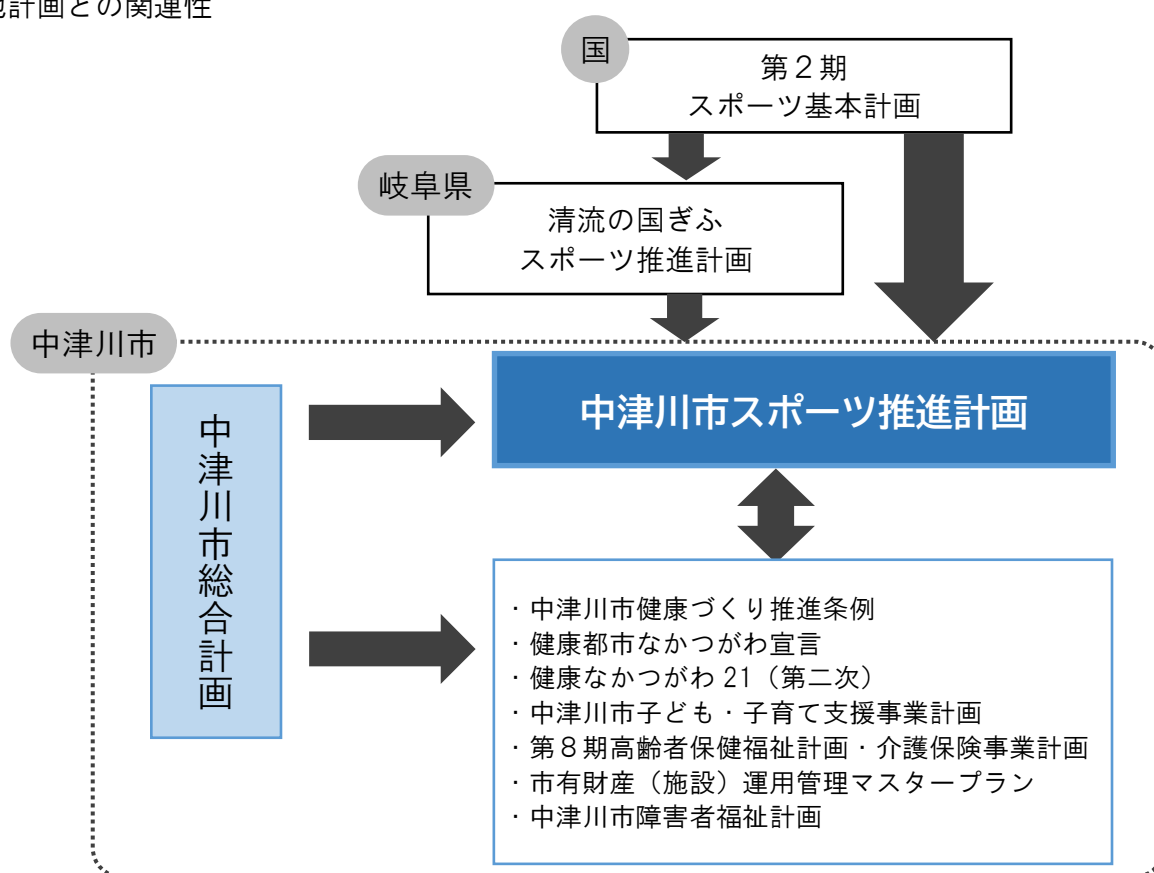


第2章 計画の概要

1 計画の位置づけと他の計画等との関わり

本計画は、スポーツ基本法第10条に該当するものとして、スポーツ基本法の理念に則り、国のスポーツ政策の総合的かつ計画的な推進を図るための重要な指針である「第2期スポーツ基本計画」を踏まえて策定します。また、岐阜県のスポーツに関する計画、本市の最上位計画である「中津川市総合計画」、その他関連計画との整合を図ります。

■他計画との関連性



2 計画の期間

本計画の期間は、平成27年度から令和8年度までの12年間としています。

なお、計画の中間年である令和2年度に中間見直しを行います。見直し後の計画期間は、令和3年度から令和8年度までの6年間です。

■計画の期間

H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
策定				見直し				改訂				

3 国、県の動向

(1) スポーツ基本計画

国においては、平成 23 年 6 月に制定された「スポーツ基本法」に基づき、平成 24 年に「スポーツ基本計画」が策定され、スポーツに関する施策の総合的かつ計画的な推進が図られています。

「スポーツ基本計画」は、スポーツ基本法の理念を具体化し、今後のわが国のスポーツ政策の具体的な方向性を示すものとして、国、地方公共団体及びスポーツ団体等の関係者が一体となって施策を推進していくための重要な指針として位置づけられるものであり、スポーツ施策はスポーツ基本計画に基づいて推進されています。

平成 29 年に新たに策定された「第 2 期スポーツ基本計画」では、『①スポーツで「人生」が変わる!』『②スポーツで「社会」を変える!』『③スポーツで「世界」とつながる!』『④スポーツで「未来」を創る!』という 4 つの観点から、人々がスポーツの力で人生を楽しく健康でいきいきとしたものとし、活力ある社会と絆の強い世界を創るという「一億総スポーツ社会」の実現を目指しています。

(2) 清流の国ぎふスポーツ推進計画

「清流の国ぎふスポーツ推進計画」は、国の「スポーツ基本計画」や、平成 25 年 3 月に施行された「岐阜県清流の国スポーツ推進条例」の理念を具体化し、県民がスポーツに親しみ、スポーツを楽しみ、スポーツを支える活動に参画することを支援し、競技団体、学校、市町村、県及びスポーツに関係するあらゆる団体がそれぞれの立場でスポーツに関する活動を行うための指針となるものです。

計画の基本目標は「スポーツ立県・ぎふ」とし、県民が明るく健康で心豊かに暮らし、地域に元気があふれる、スポーツによる「清流の国ぎふ」の実現に向け、①競技スポーツの推進、②地域スポーツの推進、③学校体育の推進、④障がい者スポーツの推進、⑤スポーツによる地域振興、⑥スポーツ環境の整備、を計画の 6 つの柱としています。

計画期間は、令和 2 年の東京オリンピック・パラリンピックの開催に向け、平成 27 年度から令和 2 年度までの 6 年間となっていました。世界的な新型コロナウイルス感染症の蔓延により、大会が令和 3 年に延期されたことに伴い「清流の国ぎふスポーツ推進計画（変更案）」として、令和 3 年度までの 7 年間に変更されました。

4 計画で扱うスポーツの定義

「岐阜県清流の国スポーツ推進条例」では、スポーツは青少年の健全な育成や体力の向上、心身の健康保持増進などに大きな役割を果たし、健康で活力に満ちた長寿社会の実現に不可欠なものであり、スポーツ及びスポーツを支える活動は、地域の一体感や活力の醸成、地域社会の絆の構築、地域の活性化、産業の振興等に寄与するものとされています。

本計画においてもスポーツを幅広く捉え、運動競技にみられる自己・他者との記録を競ったり、勝敗を争ったりするスポーツだけでなく、レクリエーションをはじめ、趣味や交流のために気軽に身体を動かすこと、体力づくり、健康増進のために身体を動かすことなどもスポーツとして扱います。

また、自身が身体を動かして行う「する」スポーツだけでなく、プロスポーツ等を観戦する「観る」スポーツ、監督やコーチ、審判、スポーツボランティア、ファン・サポーターとして参加する「支える」スポーツなども、この計画ではスポーツとして扱います。



“スポーツ”





第3章 中津川市の現状と課題

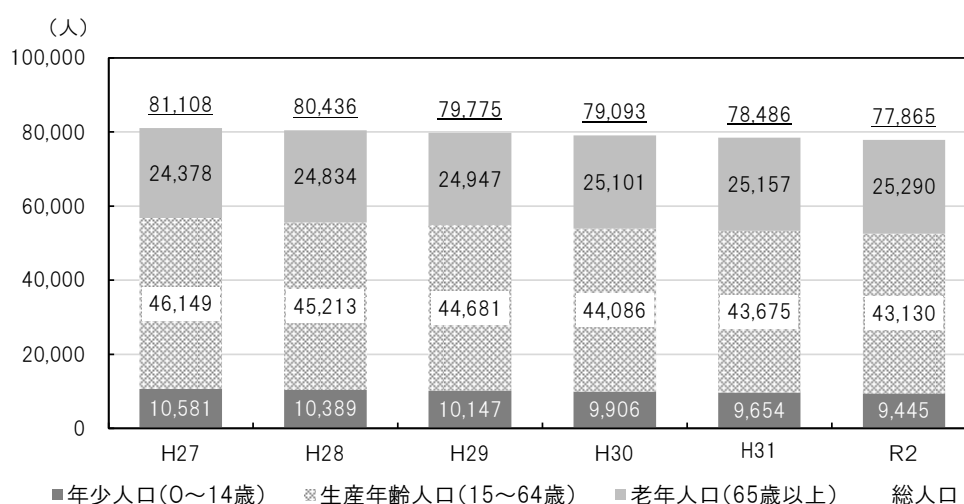
1 統計から見る中津川市の現状

(1) 人口の状況

① 総人口の推移

総人口の推移をみると年々減少傾向にあり、令和2年では77,865人となっています。年齢3区分別にみると、年少人口（0～14歳）と生産年齢人口（15～64歳）は減少し、老年人口（65歳以上）は増加しています。

■ 総人口の推移



資料：住民基本台帳（各年3月末時点）

② 地区別人口の状況（令和2年4月末現在）

地区別人口をみると、地区によって差がある状況となっています。中津地区の26,143人が最も多く、川上地区の751人が最も少なくなっています。

■ 地区別人口

単位：人

	中津	苗木	坂本	落合	阿木	神坂	坂下
男性	12,779	3,035	6,348	1,782	1,032	646	2,124
女性	13,364	3,155	6,404	1,837	1,106	666	2,261
計	26,143	6,190	12,752	3,619	2,138	1,312	4,385
	川上	加子母	付知	福岡	蛭川	山口	
男性	371	1,331	2,620	3,068	1,553	481	
女性	380	1,374	2,809	3,330	1,685	512	
計	751	2,705	5,429	6,398	3,238	993	

資料：住民基本台帳（令和2年4月末時点）

(2) 公共スポーツ施設等の状況

① スポーツ施設の利用状況の比較

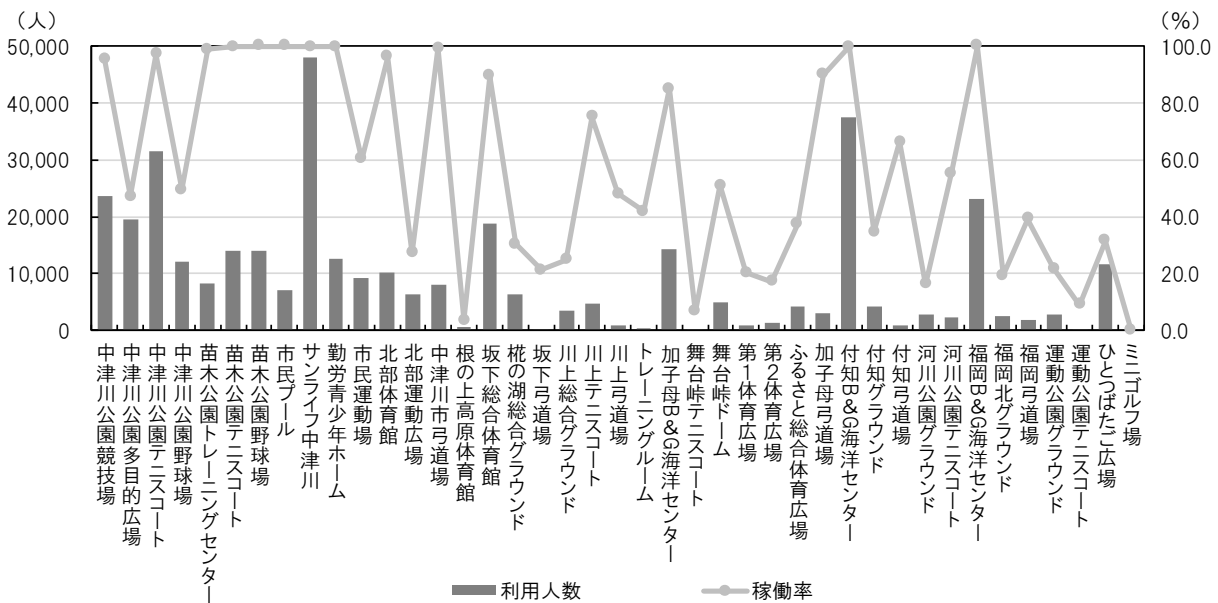
本市には、中津川公園の競技場や多目的広場、サンライフ中津川、加子母、付知及び福岡地域のB&G海洋センターなど、多様なスポーツ施設が整備されています。

平成27年度から令和元年度にかけて、多くの施設で利用者が減少傾向にある中、令和元年度のサンライフ中津川の利用者数は49,854人となっており、平成27年度の48,138人と比べて1,716人増加しています。

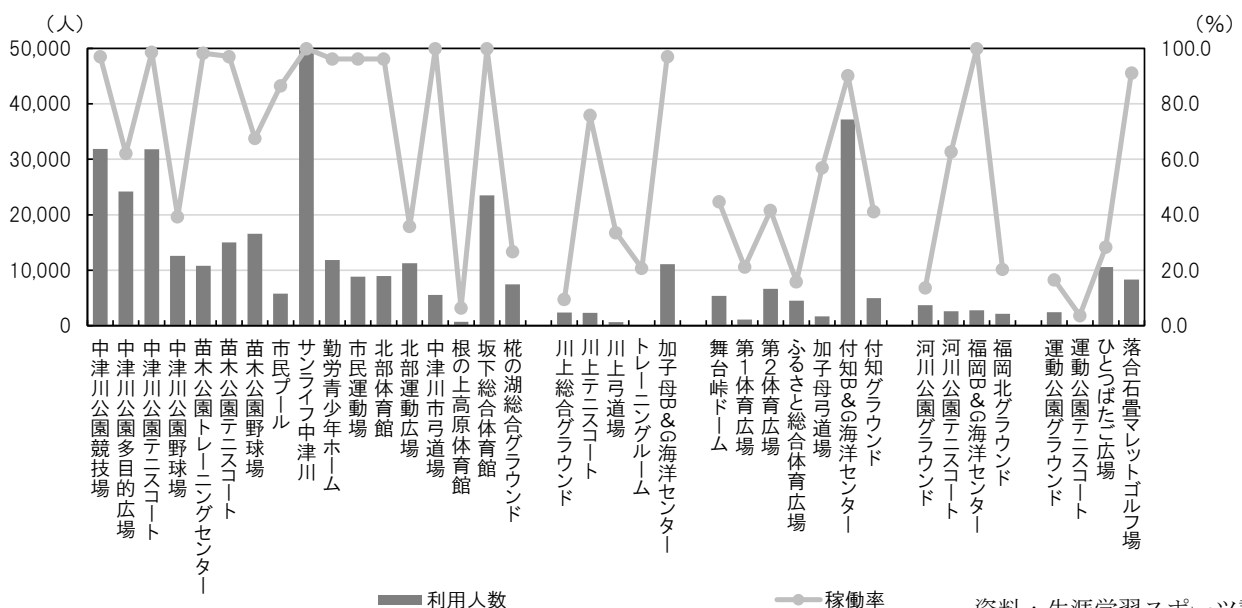
平成27年度以降に、坂下弓道場、付知弓道場、福岡弓道場、蛭川ミニゴルフ場、舞台峠テニスコートが廃止となっています。

■ 文化スポーツ施設の利用人数・稼働率

(平成27年度)



(令和元年度)



資料：生涯学習スポーツ課

■文化スポーツ施設の一覧（令和元年度）

施設名称	所在地	利用人数（人）	稼働率（％）
中津川公園競技場	中津川市茄子川 1683-1031	31,875	97.1
中津川公園多目的広場	中津川市茄子川 1683-1031	24,179	62.1
中津川公園テニスコート	中津川市茄子川 1683-1031	31,826	98.6
中津川公園野球場	中津川市茄子川 1683-800	12,600	39.3
苗木公園トレーニングセンター	中津川市苗木 4610-24	10,801	98.3
苗木公園テニスコート	中津川市苗木 4610-24	15,023	97.1
苗木公園野球場	中津川市苗木 4610-24	16,561	67.6
市民プール	中津川市駒場 1658-23	5,744	86.5
サンライフ中津川	中津川市手賀野 172-1	49,854	100.0
勤労青少年ホーム	中津川市手賀野 172	11,888	96.2
市民運動場	中津川市手賀野 169-1	8,874	96.2
北部体育館	中津川市千旦林 1573-45	8,938	96.2
北部運動広場	中津川市千旦林 1574-5	11,267	35.8
中津川市弓道場	中津川市手賀野 169-1	5,577	100.0
根の上高原体育館	中津川市手賀野 746-124	673	6.4
坂下総合体育館	中津川市坂下 1512-1	23,531	100.0
椈の湖総合グラウンド	中津川市坂下 5178	7,433	26.7
川上総合グラウンド	中津川市川上 1433-2	2,401	9.5
川上テニスコート	中津川市川上 1433-2	2,355	75.9
川上弓道場	中津川市川上 1433-2	622	33.6
トレーニングルーム	中津川市川上 1437-1	176	20.7
加子母 B&G 海洋センター	下呂市御厩野 3015-102	11,072	97.1
舞台峠ドーム	下呂市御厩野 3015-66	5,383	44.7
第1体育広場	中津川市加子母 3885-1	1,104	21.2
第2体育広場	中津川市加子母 3885-1	6,634	41.6
ふるさと総合体育広場	中津川市加子母 2781-67	4,529	15.9
加子母弓道場	中津川市加子母 3885-1	1,694	57.0
付知 B&G 海洋センター	中津川市付知町 5692	37,214	90.2
付知グラウンド	中津川市付知町 3927	4,982	41.1
河川公園グラウンド	中津川市付知町 6823	3,715	13.7
河川公園テニスコート	中津川市付知町 6823	2,600	62.7
福岡 B&G 海洋センター	中津川市福岡 1-21	2,758	100.0
福岡北グラウンド	中津川市田瀬 1828	2,155	20.3
運動公園グラウンド	中津川市蛭川 4903-1	2,409	16.6
運動公園テニスコート	中津川市蛭川 4903-1	46	3.7
ひとつばたご広場	中津川市蛭川 2189-1	10,578	28.4
落合石畳マレットゴルフ場	中津川市落合 1447-124	8,346	91.2

※稼働率は開館日のうち利用があった日数の割合。
資料：生涯学習スポーツ課

(3) 子どものスポーツへの取組状況

①体力の状況

令和元年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果によると、岐阜県の小学校児童の種目別平均点は、男子で3種目、女子で3種目が全国平均を上回っています。また、中学校生徒の種目別平均は、男子で7種目、女子で8種目が全国平均を上回っています。

平成26年度と比較すると、小学生男子、中学生男子は体力合計点が減少している一方、小学生女子、中学生女子は増加しています。

■小学生の運動能力（平成26年度）

	種目別平均								体力合計点
	握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横跳び (点)	20m シャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ソフトボール投げ (m)	
岐阜県 (男子)	16.25	19.41	32.51	42.06	50.88	9.34	151.61	23.37	53.84
全国 (男子)	16.55	19.56	32.87	41.61	51.67	9.38	151.71	22.89	53.91
岐阜県 (女子)	15.74	18.10	36.86	39.84	38.94	9.62	144.81	14.53	54.93
全国 (女子)	16.09	18.26	37.22	39.37	40.30	9.63	144.79	13.89	55.01

資料：全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果（平成26年度）

■小学生の運動能力（令和元年度）

	種目別平均								体力合計点
	握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横跳び (点)	20m シャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ソフトボール投げ (m)	
岐阜県 (男子)	16.01	19.65	32.59	42.44	48.96	9.41	150.43	21.81	53.35
全国 (男子)	16.37	19.80	33.24	41.74	50.32	9.42	151.47	21.60	53.61
岐阜県 (女子)	15.80	18.98	36.74	40.69	39.15	9.65	144.62	14.24	55.40
全国 (女子)	16.09	18.95	37.62	40.14	40.80	9.63	145.70	13.59	55.59

資料：全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果（令和元年度）

■中学生の運動能力（平成 26 年度）

	種目別平均									体力合計点
	握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横跳び (点)	持久走 1500m 1000m (秒)	20m シャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ハンドボール投げ (m)	
岐阜県 (男子)	29.05	27.40	44.47	52.53	395.92	85.13	7.93	195.42	21.31	42.82
全国 (男子)	29.00	27.36	42.87	51.31	393.74	85.02	8.03	193.44	20.81	41.63
岐阜県 (女子)	23.83	22.81	46.07	46.09	297.66	56.65	8.80	167.47	13.37	49.32
全国 (女子)	23.68	22.99	45.25	45.64	291.18	57.50	8.87	166.47	12.81	48.55

資料：全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果（平成 26 年度）

■中学生の運動能力（令和元年度）

	種目別平均									体力合計点
	握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横跳び (点)	持久走 1500m 1000m (秒)	20m シャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ハンドボール投げ (m)	
岐阜県 (男子)	28.51	26.91	43.94	52.80	399.59	84.34	7.98	194.51	20.42	42.10
全国 (男子)	28.64	26.85	43.43	51.87	400.03	83.13	8.02	195.02	20.35	41.56
岐阜県 (女子)	23.89	23.64	46.75	47.89	295.29	58.20	8.75	170.39	13.39	51.01
全国 (女子)	23.74	23.58	46.29	47.25	290.55	57.98	8.81	169.71	12.87	50.03

資料：全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果（令和元年度）

②スポーツ少年団の状況

スポーツ少年団に登録されているスポーツは 11 種目となっています。

また、令和元年度のスポーツ少年団に加入している子どもの人数は、小学生で 466 人、中学生で 176 人、高校生で 2 人と、いずれも平成 26 年度と比べると減少傾向にあります。

スポーツ少年団の登録指導者数は、平成 26 年から平成 29 年にかけて減少傾向にありましたが、平成 30 年以降は増加しています。種目別にみると、野球、サッカー、ソフトテニスが平成 26 年以降で増加している一方、体操、卓球、バスケットボールは平成 29 年以降 0 人となっています。

■スポーツ少年団に登録されているスポーツ（令和 2 年 10 月現在）

剣道	野球	サッカー	空手
弓道	柔道	バレーボール	陸上
ソフトテニス	ソフトボール	スキー	

資料：生涯学習スポーツ課

■スポーツ少年団に加入している子どもの人数

	小学生		中学生		高校生	合計 (人)	児童生徒数		
	団員数 (人)	加入率 (%)	団員数 (人)	加入率 (%)	団員数 (人)		小学生 (人)	中学生 (人)	合計 (人)
H26	520	11.9	308	13.0	4	832	4,377	2,368	6,745
H27	507	11.9	252	10.8	6	765	4,275	2,332	6,607
H28	493	11.8	236	10.4	5	734	4,161	2,277	6,438
H29	518	12.5	182	8.2	10	710	4,146	2,213	6,359
H30	500	12.3	176	8.3	13	689	4,078	2,118	6,196
R1	466	11.6	176	8.5	2	644	4,027	2,060	6,087

資料：生涯学習スポーツ課

■スポーツ少年団の指導者数

(単位：人)

	H26	H27	H28	H29	H30	R1
剣道	43	37	40	42	45	40
野球	31	31	31	32	39	45
サッカー	41	46	49	51	52	49
空手	11	11	11	12	10	12
体操	8	8	8	0	0	0
弓道	23	21	19	18	15	13
柔道	20	20	19	19	18	21
バレーボール	6	6	7	4	4	4
陸上	12	10	7	11	11	11
ソフトテニス	6	6	6	6	9	10
卓球	5	2	2	0	0	0
バスケットボール	4	3	3	0	0	0
ソフトボール	3	3	3	3	3	3
スキー	5	4	4	4	4	4
テニス	0	0	0	0	0	0
計	218	208	209	202	210	212

資料：生涯学習スポーツ課

(4) スポーツ活動に取り組んでいる団体の状況

①中津川市体育協会加盟団体

中津川市体育協会は、アマチュアスポーツの競技力の向上と、次世代の選手育成に努めるとともに、市民の体力向上を図り、スポーツ精神を養い、地域の発展に寄与することを目的として活動しています。

■競技団体（令和2年11月現在：24団体）

アーチェリー協会	カヌー協会	空手道連盟	剣道連盟
サッカー協会	山岳連盟	射撃協会	柔道協会
水泳協会	スキー協会	スケート協会	ソフトテニス連盟
ソフトボール協会	体操協会	卓球連盟	テニス協会
軟式野球連盟	バスケットボール協会	バドミントン協会	バレーボール協会
マレットゴルフ協会	弓道連盟	陸上競技協会	レスリング協会

資料：生涯学習スポーツ課

■支部団体（令和2年11月現在：15団体）

東支部	南支部	西支部	苗木支部
坂本支部	落合支部	阿木支部	神坂支部
山口支部	坂下支部	川上支部	加子母支部
付知支部	福岡支部	蛭川支部	

資料：生涯学習スポーツ課

■関係団体（令和2年11月現在：4団体）

スポーツ推進委員会	中学校体育連盟
レクリエーション協会	スポーツウェルネス吹矢ぎふ中津川支部

資料：生涯学習スポーツ課

(5) 情報提供に関する状況

①スポーツに関する情報提供の状況

本市では、広報なかつがわにおいて、スポーツ活動に関する情報提供を実施しています。また、市ホームページのスポーツ施設予約状況閲覧システムにより、スポーツ施設の予約情報や使用規定・料金表を公開しています。

(6) スポーツ観戦の状況

①市内の観戦事業一覧

本市では、年に一度「FC 岐阜 中津川ホームタウンデー」を開催しており、市内の観客動員数は毎年 100 人程度となっています。その他に、高校野球の交流戦等を行っています。

■平成 27 年度～令和元年度の観戦事業一覧

年度	観戦事業	観戦者数	種目	実施日
H27	慶應義塾大学野球部 交流試合	300 人	野球	8 月 26～28 日
	FC 岐阜 中津川ホームタウンデー FC 岐阜 vs ジェフユナイテッド千葉	100 人 ※中津川市からの 観戦動員者数	サッカー	10 月 25 日
H28	慶應義塾大学 vs 中京大学 交流戦	400 人	野球	8 月 12 日
	FC 岐阜 中津川ホームタウンデー FC 岐阜 vs FC 町田ゼルビア	100 人 ※中津川市からの 観戦動員者数	サッカー	10 月 22 日
	慶應義塾高校 vs 市内高校 交流戦	200 人	野球	11 月 5、6 日
H29	FC 岐阜 中津川ホームタウンデー FC 岐阜 vs 湘南ベルマーレ	100 人 ※中津川市からの 観戦動員者数	サッカー	11 月 11 日
	2017/18 V チャレンジリーグ 女子中津川大会	2,200 人	バレーボール	2 月 10、11 日
H30	大相撲中津川場所	3,000 人	大相撲	4 月 2 日
	FC 岐阜 中津川ホームタウンデー FC 岐阜 vs 大宮アルディージャ	100 人 ※中津川市からの 観戦動員者数	サッカー	9 月 1 日
R 1	まん中マッチ FC 岐阜 vs 松本山雅 FC	1,000 人	サッカー	4 月 29 日
	米国女子レスリングチーム夏季合宿 公開練習	50 人	レスリング	7 月 20～26 日
	FC 岐阜 中津川ホームタウンデー FC 岐阜 vs 愛媛 FC	100 人	サッカー	10 月 20 日
	レスリング 2019 女子ワールドカップ応援バスツアー	20 人	レスリング	11 月 16 日

資料：生涯学習スポーツ課



2 アンケート調査から見るスポーツの状況

(1) 調査概要

本市では、市のスポーツ振興の基本的な指針となる「中津川市スポーツ推進計画」を平成27年に策定しました。このたび、計画策定から5年が経過し、計画期間の中間年を迎えることから、計画の中間見直しを行うこととなりました。

この調査は、20歳以上の市民に対し、日頃の運動やスポーツに関する意識や実態、要望等の情報を整理・分析し、課題を明らかにするとともに、計画の中間見直しの基礎資料とするものです。

なお、この調査は、新型コロナウイルス感染症が世界的に流行している際に実施されたものです。調査の実施にあたり、新型コロナウイルス感染症対策による外出自粛期間以前の生活状況を基準として回答をお願いしています。

■アンケート調査の概要

	内容
調査地域	中津川市全域
調査対象	中津川市在住の20歳以上の市民2,000人
調査期間	令和2年8月17日(月)～9月2日(水)
調査方法	郵送配布・郵送回収
回収結果	配布数2,000、回収数865、回収率43.3%

(2) アンケート調査結果の見方

- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中の「N (number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- 表中の網掛けは、「不明・無回答」を除き、最も割合の高い項目と2番目に割合の高い項目で表しています。

(3) ご自身のスポーツ活動について

① あなたは普段、運動不足を感じますか。(〇は1つ)

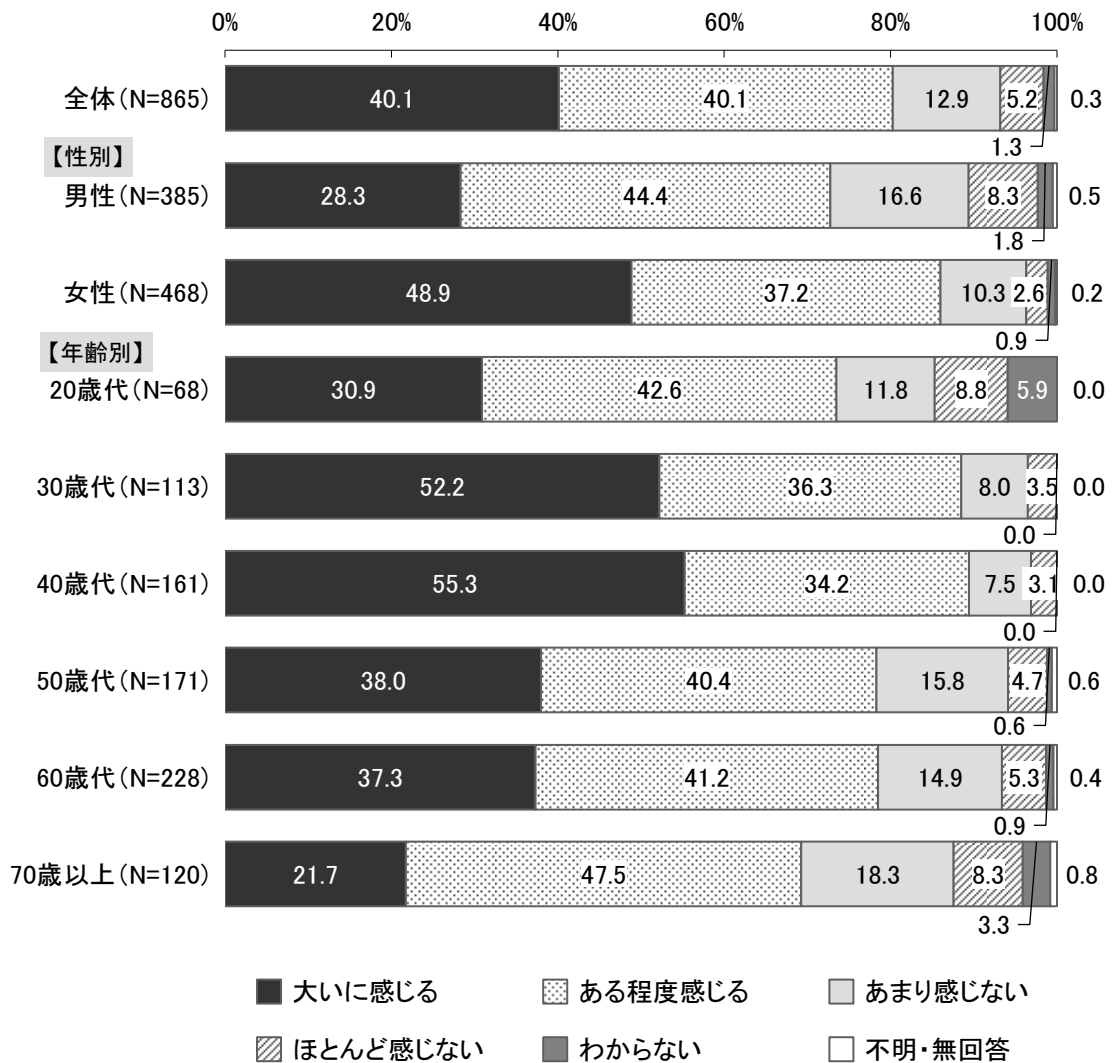
「大いに感じる」+「ある程度感じる」=『感じる』

「あまり感じない」+「ほとんど感じない」=『感じない』

普段、運動不足を感じているかについて、全体で『感じる』が 80.2%、『感じない』が 18.1%、「わからない」が 1.3%となっています。

性別にみると、男性で『感じる』が 72.7%なのに対し、女性では 86.1%と 13.4 ポイント上回っています。

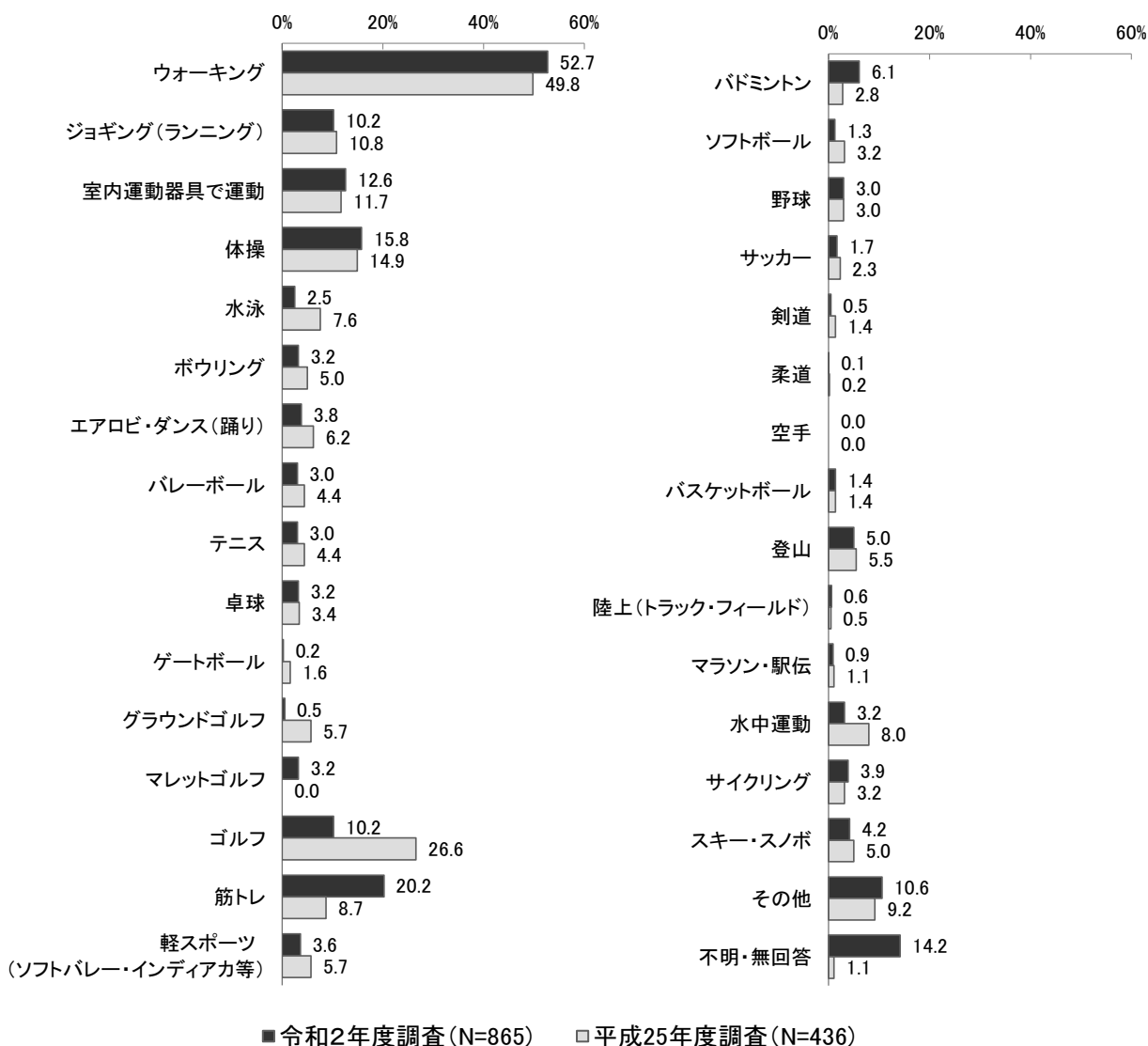
年齢別にみると、30 歳代、40 歳代で『感じる』がそれぞれ 88.5%、89.5%と、他の年代と比べて高くなっています。



② この1年間に行ったスポーツや運動を選んでください。（あてはまるものすべてに○）

この1年間に行ったスポーツや運動について、「ウォーキング」が52.7%と最も高くなっており、次いで「筋トレ」が20.2%となっています。場所を取らずに一人でも気軽に行えるスポーツや運動に取り組んでいる傾向にあります。

前回調査と比較すると、平成25年度で「ゴルフ」が26.6%なのに対し、令和2年度は10.2%と16.4ポイント下がっています。一方、平成25年度で「筋トレ」が8.7%なのに対し、令和2年度は20.2%と11.5ポイント上がっています。



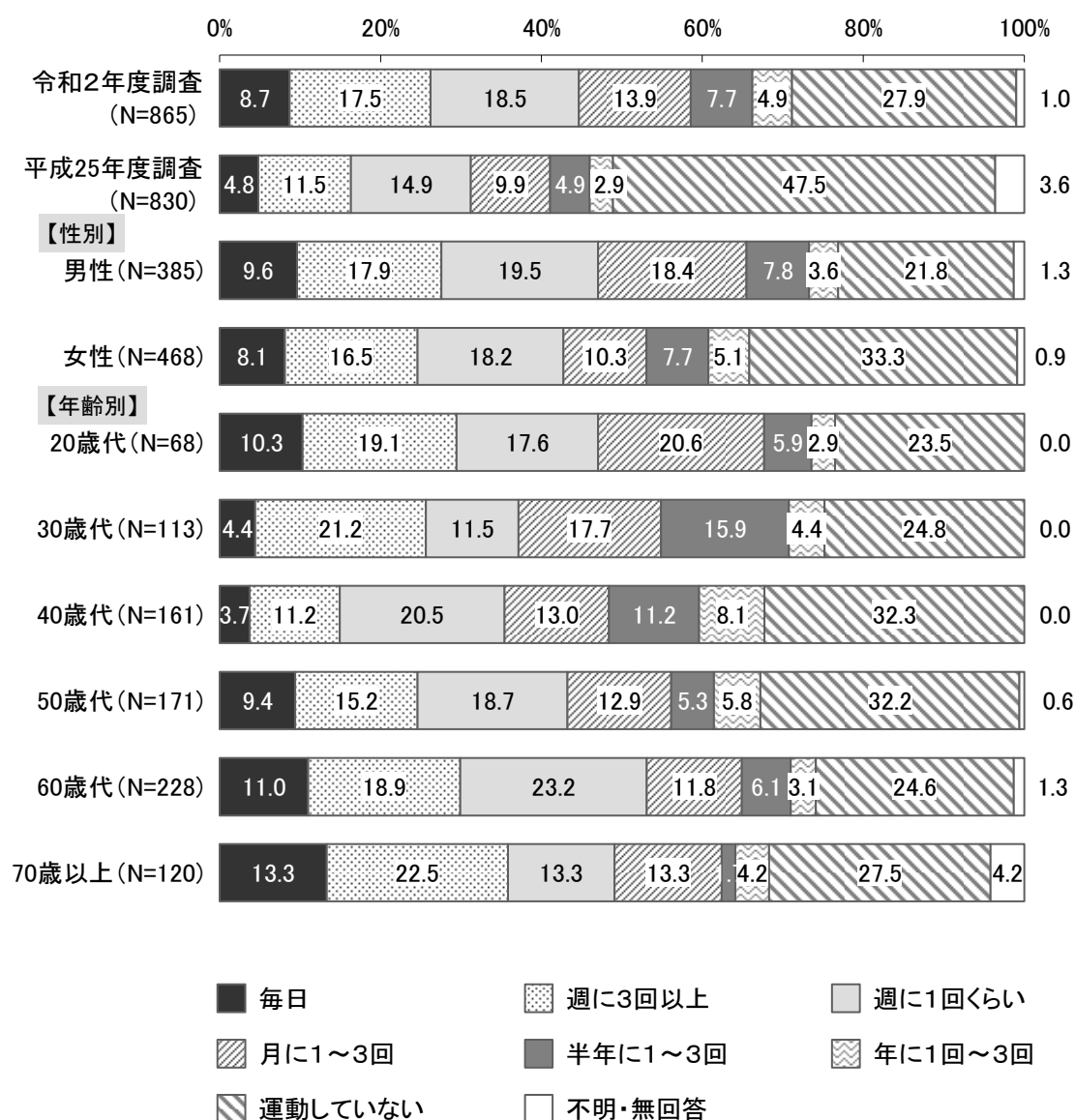
③ どれくらいの割合でスポーツや運動をしますか。(〇は1つ)

どれくらいの割合でスポーツや運動をするかについて、全体では「運動していない」が27.9%と最も高くなっており、次いで「週に1回くらい」が18.5%となっています。

性別にみると、男性で「運動していない」が21.8%なのに対し、女性では33.3%と、11.5ポイント高くなっています。

年齢別にみると、20歳代から40歳代にかけて週に1回以上運動する割合が低くなっています。一方、40歳代から60歳代にかけては週に1回以上運動する割合が高くなっています。

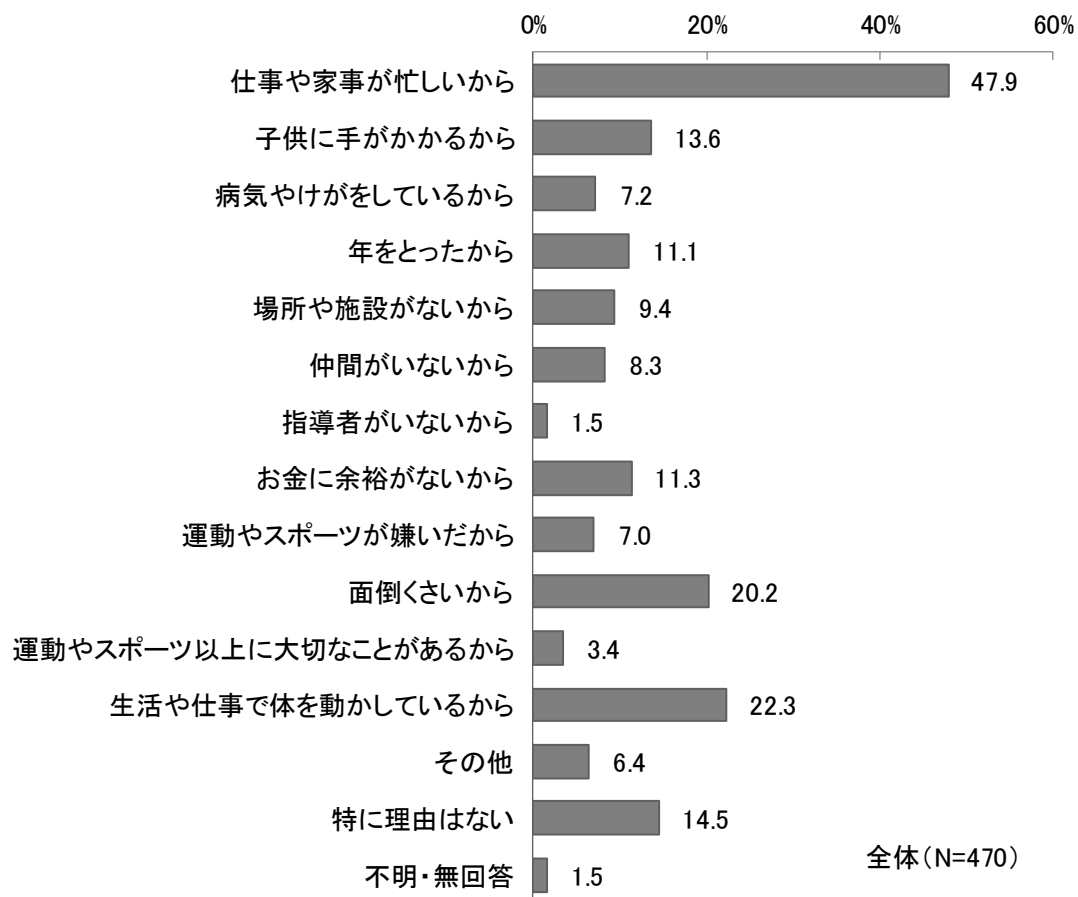
前回調査と比較すると、平成25年度で「運動していない」が47.5%なのに対し、令和2年度は27.9%と、19.6ポイント下がっています。



④ 週に1回以上スポーツや運動が実施できなかった理由は何ですか。(〇は1つ)

週に1回以上スポーツや運動を実施できなかった理由について、「仕事や家事が忙しいから」が47.9%と最も高くなっており、次いで「生活や仕事で体を動かしているから」が22.3%となっています。

年齢別にみると、30歳代、40歳代で「子供に手がかかるから」がそれぞれ43.7%、27.9%となっており、他の年代と比べて高くなっています。



■クロス集計

(単位%)

	仕事や家事が忙しいから	子供に手がかかるから	病気やけがをしているから	年をとったから	場所や施設がないから	仲間がないから	指導者がいないから	お金の余裕がないから	運動やスポーツが嫌いだから
全体 (N=470)	47.9	13.6	7.2	11.1	9.4	8.3	1.5	11.3	7.0
【性別】									
男性 (N=199)	45.7	8.5	7.5	17.6	10.1	9.5	1.0	11.6	3.5
女性 (N=264)	48.5	16.7	7.2	6.4	8.3	6.8	1.9	11.4	9.8
【年齢別】									
20歳代 (N=36)	47.2	5.6	0.0	0.0	19.4	16.7	2.8	8.3	16.7
30歳代 (N=71)	62.0	43.7	4.2	1.4	9.9	8.5	0.0	8.5	5.6
40歳代 (N=104)	64.4	27.9	2.9	9.6	6.7	6.7	0.0	13.5	8.7
50歳代 (N=96)	52.1	1.0	8.3	10.4	10.4	10.4	1.0	15.6	7.3
60歳代 (N=104)	28.8	0.0	8.7	19.2	8.7	8.7	3.8	6.7	4.8
70歳代以上 (N=56)	26.8	0.0	17.9	19.6	5.4	1.8	1.8	10.7	3.6

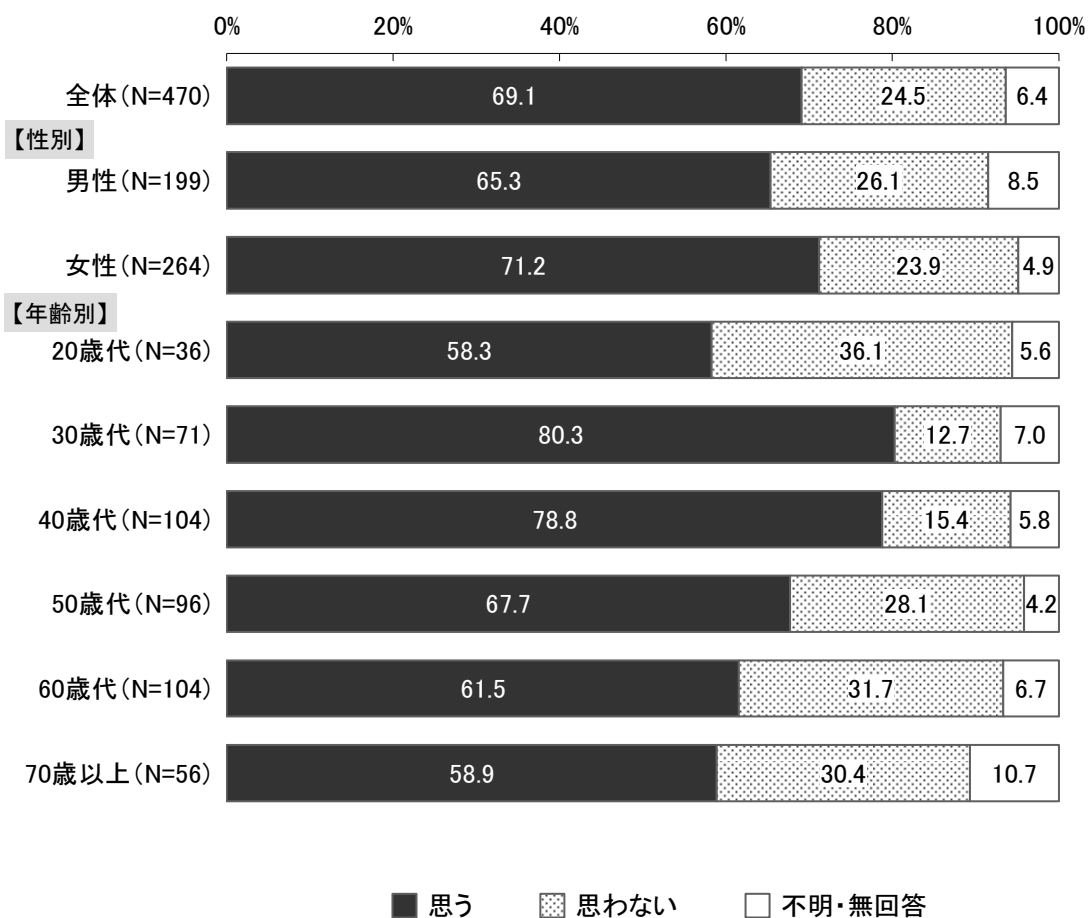
	面倒くさいから	運動やスポーツ以上に大切なことがあるから	生活や仕事で体を動かしているから	その他	特に理由はない	不明・無回答
全体 (N=470)	20.2	3.4	22.3	6.4	14.5	1.5
【性別】						
男性 (N=199)	17.6	4.5	22.1	4.0	14.6	2.0
女性 (N=264)	22.3	2.7	23.1	8.3	14.4	1.1
【年齢別】						
20歳代 (N=36)	33.3	2.8	16.7	2.8	13.9	0.0
30歳代 (N=71)	23.9	4.2	12.7	8.5	5.6	0.0
40歳代 (N=104)	23.1	2.9	18.3	2.9	12.5	1.9
50歳代 (N=96)	21.9	4.2	32.3	5.2	10.4	2.1
60歳代 (N=104)	16.3	4.8	21.2	7.7	26.0	1.9
70歳代以上 (N=56)	5.4	0.0	32.1	12.5	16.1	1.8

⑤ できれば定期的にスポーツや運動をしたいと思われませんか。(〇は1つ)

定期的にスポーツや運動をしたいと思うかについて、全体で「思う」が 69.1%、「思わない」が 24.5%となっています。

性別にみると、男性で「思う」が 65.3%になっているのに対し、女性では 71.2%と、5.9ポイント高くなっています。

年齢別にみると、30歳代、40歳代で「思う」がそれぞれ 80.3%、78.8%と、他の年代と比べて高くなっています。

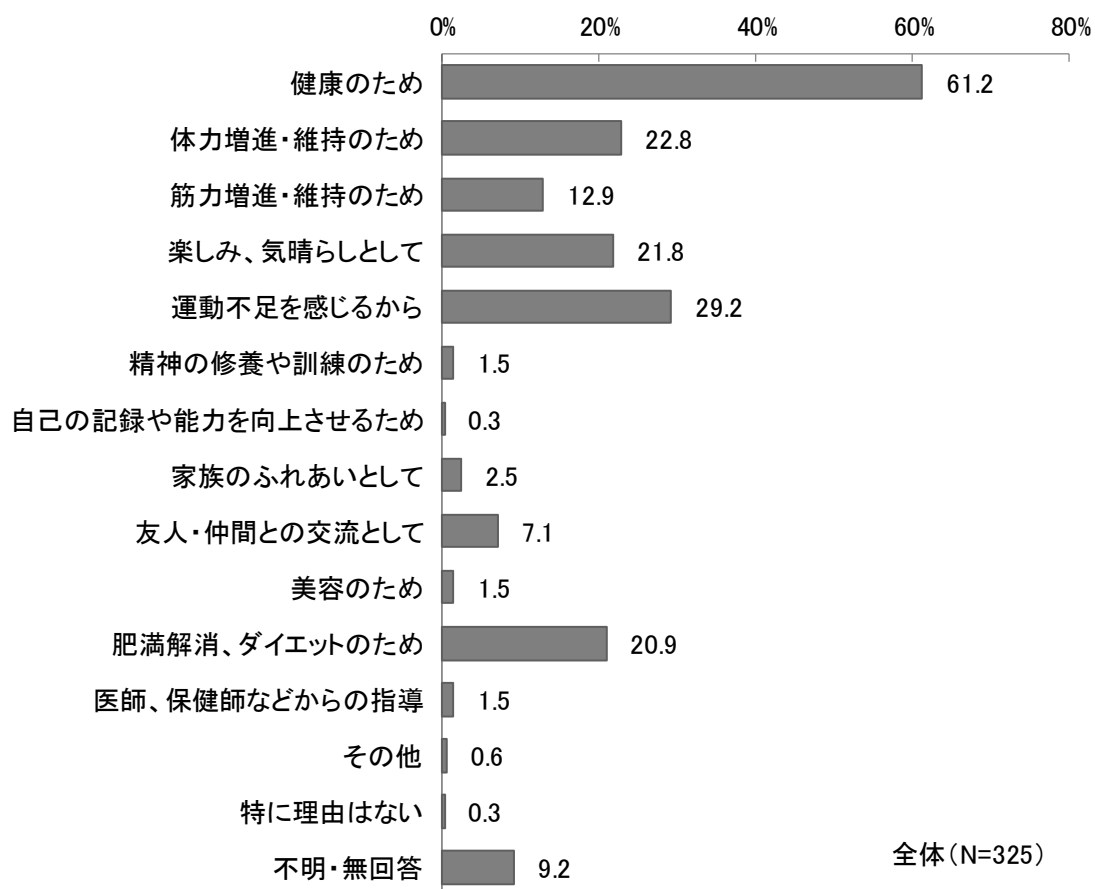


⑥ スポーツや運動をやってみたいと思う理由は何ですか。（〇は2つまで）

スポーツや運動をやってみたいと思う理由について、全体で「健康のため」が 61.2%と最も高くなっており、次いで「運動不足を感じるから」が 29.2%となっています。

性別にみると、男性で「肥満解消、ダイエットのため」が 12.3%なのに対し、女性では 26.6%と、14.3ポイント高くなっています。

年齢別にみると、20歳代で「楽しみ、気晴らしとして」「肥満解消、ダイエットのため」がそれぞれ 33.3%、42.9%と、他の年代と比べて高くなっています。また、70歳代以上で「体力増進・維持のため」が 39.4%と、他の年代と比べて高くなっています。



■クロス集計

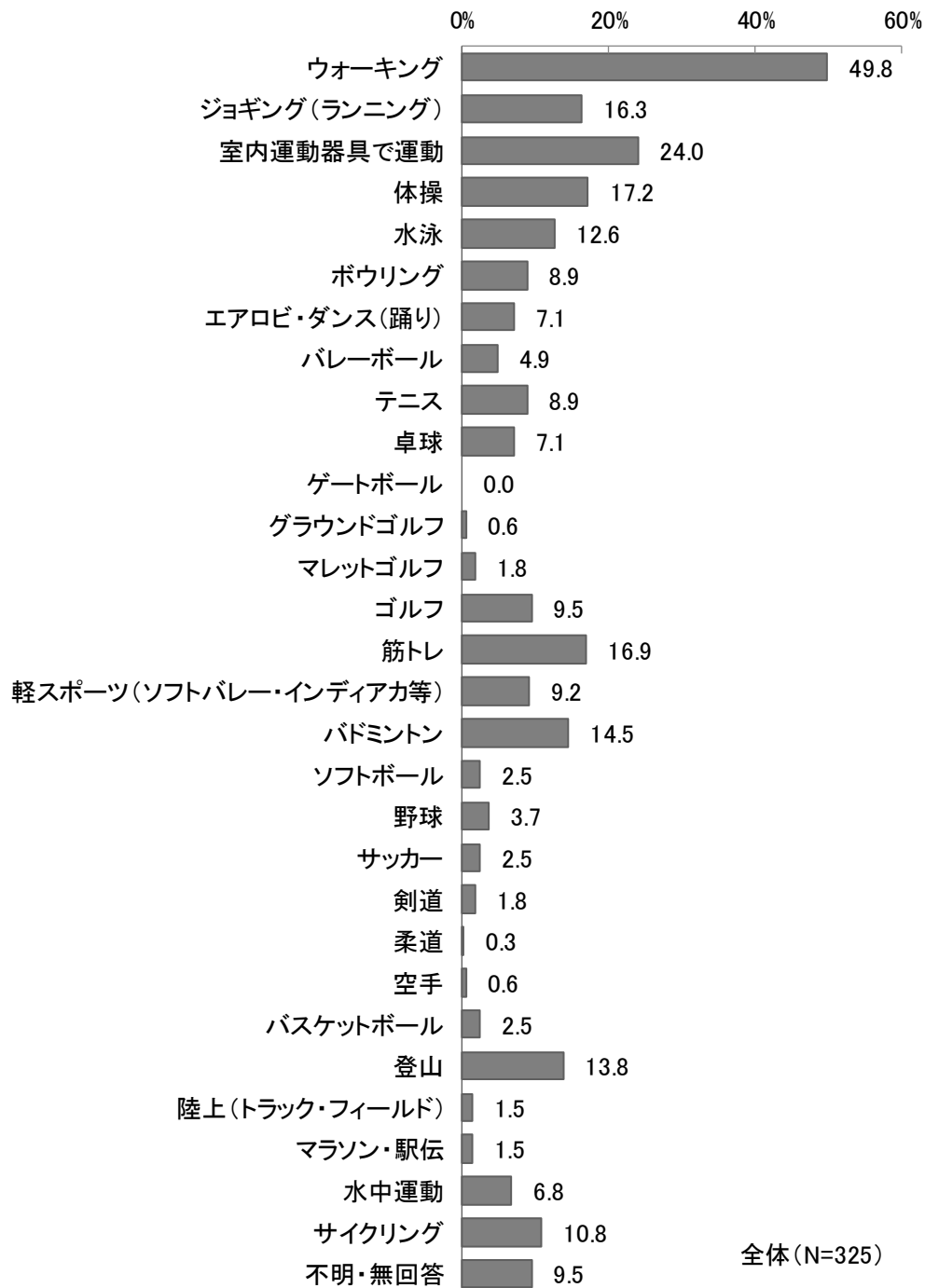
(単位%)

	健康のため	体力増進・維持のため	筋力増進・維持のため	楽しみ、気晴らしとして	運動不足を感じるから	精神の修養や訓練のため	自己の記録や能力を向上させるため	家族のふれあいとして	友人・仲間との交流として
全体 (N=325)	61.2	22.8	12.9	21.8	29.2	1.5	0.3	2.5	7.1
【性別】									
男性 (N=130)	61.5	23.8	13.1	21.5	25.4	2.3	0.8	2.3	8.5
女性 (N=188)	62.8	21.8	12.8	21.3	32.4	1.1	0.0	2.7	5.3
【年齢別】									
20歳代 (N=21)	42.9	14.3	9.5	33.3	28.6	4.8	0.0	0.0	9.5
30歳代 (N=57)	61.4	22.8	15.8	24.6	36.8	3.5	0.0	3.5	12.3
40歳代 (N=82)	58.5	20.7	7.3	24.4	28.0	0.0	0.0	6.1	1.2
50歳代 (N=65)	67.7	15.4	13.8	21.5	29.2	1.5	0.0	1.5	10.8
60歳代 (N=64)	65.6	26.6	14.1	17.2	26.6	0.0	1.6	0.0	4.7
70歳代以上 (N=33)	57.6	39.4	21.2	12.1	24.2	3.0	0.0	0.0	9.1

	美容のため	肥満解消、ダイエットのため	医師、保健師などからの指導	その他	特に理由はない	不明・無回答
全体 (N=325)	1.5	20.9	1.5	0.6	0.3	9.2
【性別】						
男性 (N=130)	0.0	12.3	1.5	1.5	0.8	10.0
女性 (N=188)	2.7	26.6	1.1	0.0	0.0	9.0
【年齢別】						
20歳代 (N=21)	4.8	42.9	0.0	0.0	0.0	14.3
30歳代 (N=57)	1.8	28.1	1.8	0.0	0.0	5.3
40歳代 (N=82)	2.4	24.4	0.0	0.0	0.0	9.8
50歳代 (N=65)	1.5	24.6	1.5	3.1	0.0	7.7
60歳代 (N=64)	0.0	9.4	0.0	0.0	0.0	14.1
70歳代以上 (N=33)	0.0	0.0	9.1	0.0	3.0	6.1

⑦ 今後行ってみたい運動やスポーツを選んでください。（あてはまるものすべてに○）

今後行ってみたい運動やスポーツについて、全体で「ウォーキング」が 49.8%と最も高くなっており、次いで「室内運動器具で運動」が 24.0%となっています。

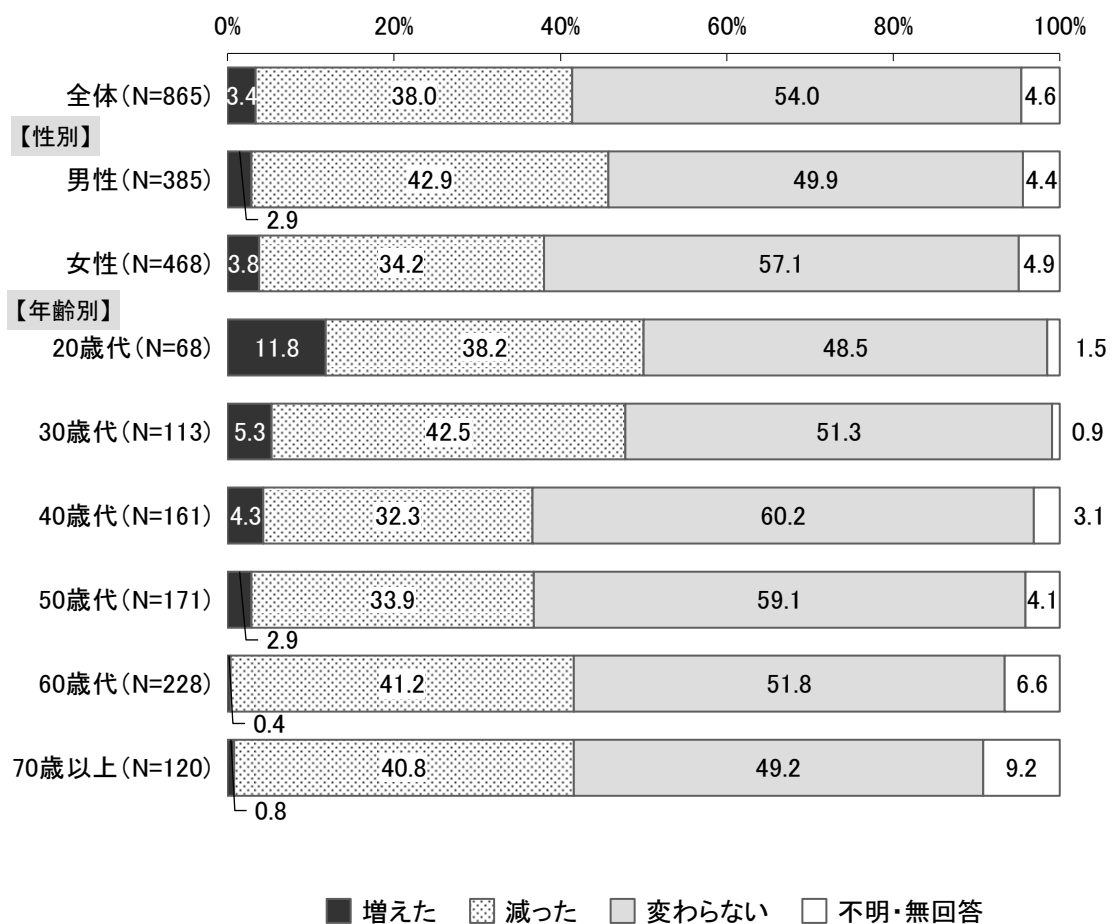


⑧ 新型コロナウイルス感染症の影響により、スポーツや運動を行う頻度に変化はありましたか。(〇は1つ)

新型コロナウイルス感染症の影響による、スポーツや運動を行う頻度への影響について、全体で「増えた」が3.4%、「減った」が38.0%、「変わらない」が54.0%となっています。

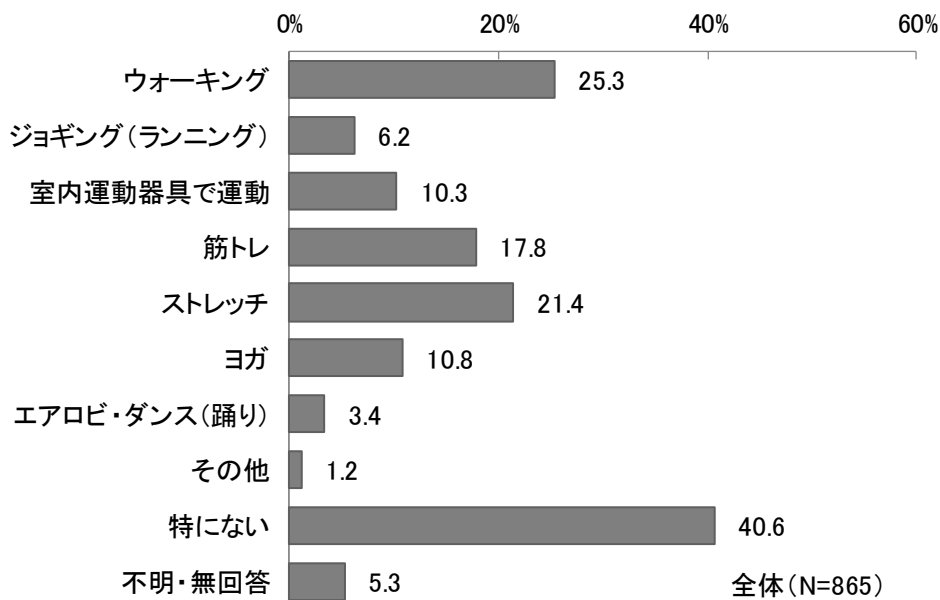
性別にみると、男性で「減った」が42.9%なのに対し、女性は34.2%と、8.7ポイント低くなっています。

年齢別にみると、20歳代で「増えた」が11.8%と、他の年代と比べて高くなっています。



⑨ 新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、活動自粛中に新たに取り組み始めた又は今後取り組みたいスポーツや運動はありますか。（あてはまるものすべてに○）

活動自粛中に新たに取り組み始めた又は今後取り組みたいスポーツや運動について、全体で「特にない」が40.6%と最も高くなっており、次いで「ウォーキング」が25.3%となっています。

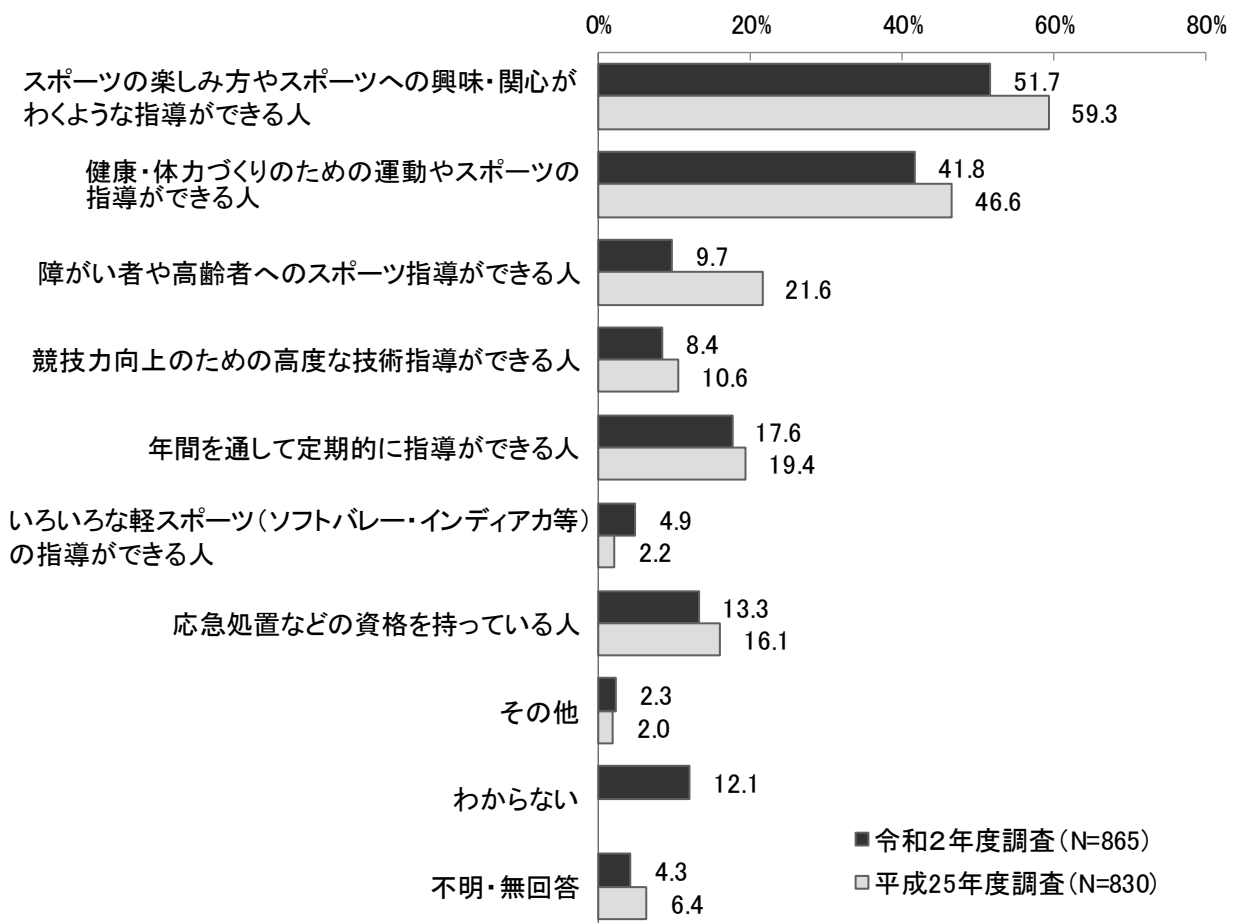


(4) 地域でのスポーツ活動について

- ① スポーツや運動を行うにあたって、どのようなスポーツ指導者が必要だと思われますか。(あてはまるものすべてに○)

どのようなスポーツ指導者が必要だと思うかについて、全体で「スポーツの楽しみ方やスポーツへの興味・関心がわくような指導ができる人」が51.7%と最も高くなっており、次いで「健康・体力づくりのための運動やスポーツの指導ができる人」が41.8%となっています。

前回調査と比較すると、平成25年度で「障がい者や高齢者へのスポーツ指導ができる人」が21.6%なのに対し、令和2年度は9.7%と、11.9ポイント下がっています。



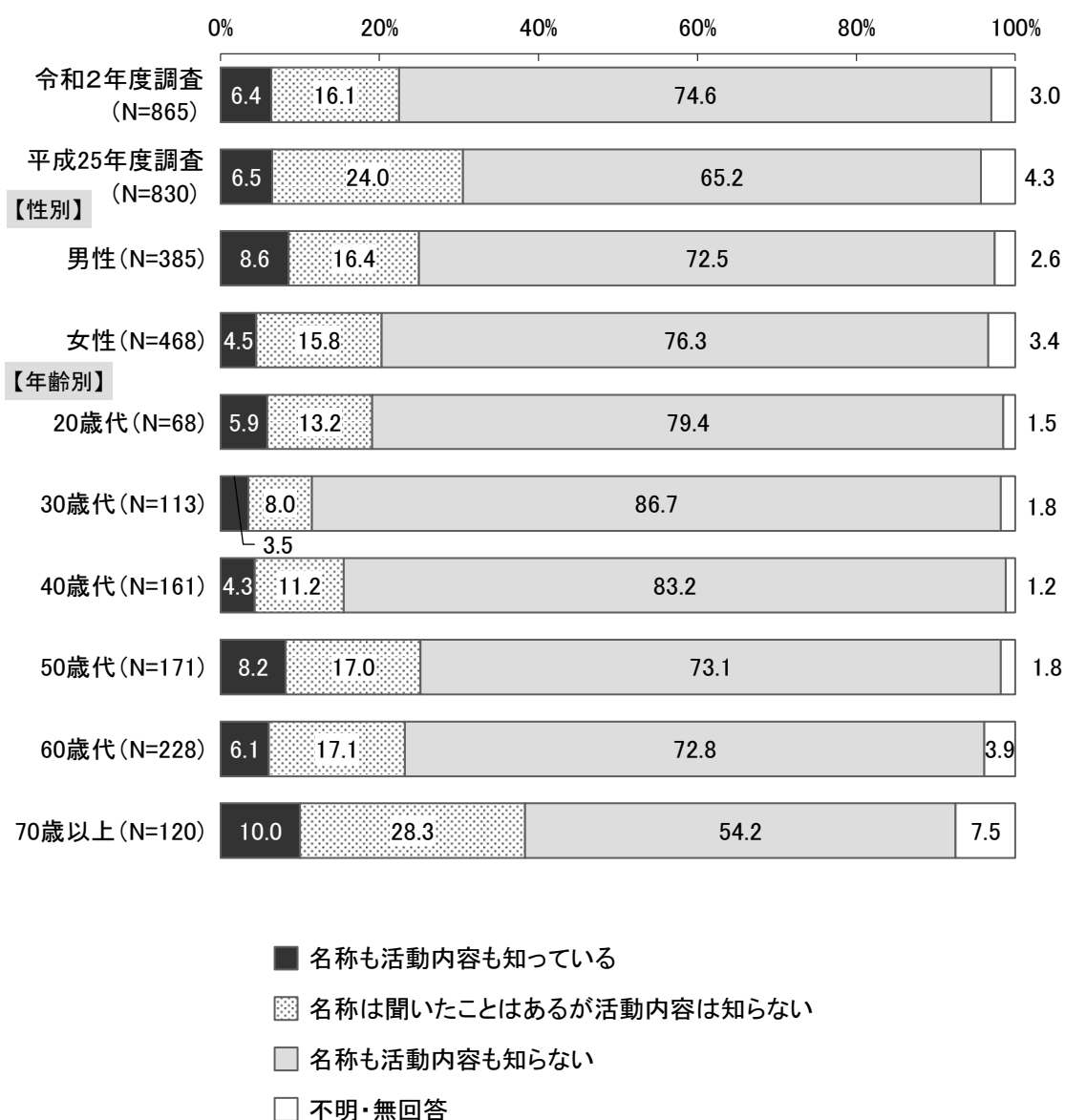
※「わからない」は令和2年度のみを選択肢

② 市内にある「総合型スポーツクラブ」について知っていますか（〇は1つ）

「総合型スポーツクラブ」を知っているかについて、全体では「名称も活動内容も知っている」が 6.4%、「名称は聞いたことはあるが活動内容は知らない」が 16.1%、「名称も活動内容も知らない」が 74.6%となっています。

年齢別にみると、70歳代以上で「名称も活動内容も知らない」が 54.2%と、他の年代と比べて低くなっています。

前回調査と比較すると、平成 25 年度で「名称も活動内容も知らない」が 65.2%なのに対し、令和 2 年度は 74.6%と、9.4 ポイント上がっています。



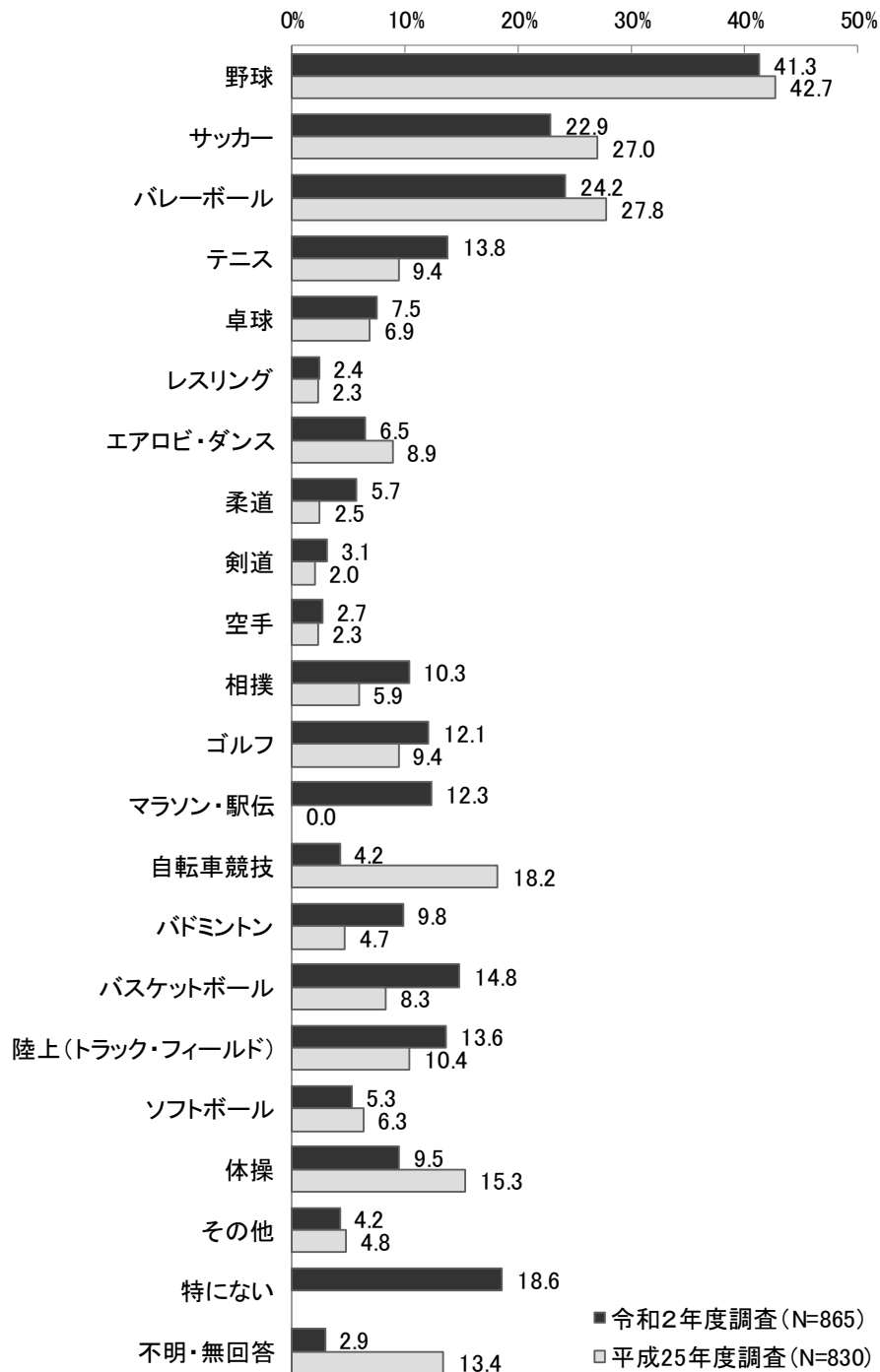
※平成 25 年度調査「名前は聞いたことはあるが活動内容は知らない」は、「なんとなく知っている」「聞いたことがある」を合わせた選択肢

(5) 観る・応援するスポーツについて

- ① 市内で観戦するなら、どんなスポーツ観戦を望みますか。（あてはまるものすべてに○）

どのようなスポーツ観戦を望むかについて、全体で「野球」が 41.3%と最も高くなっており、次いで「バレーボール」が 24.2%となっています。

前回調査と比較すると、平成 25 年度で「マラソン・駅伝」が 0.0%なのに対し、令和 2 年度は 12.3%と、12.3 ポイント上がっています。一方、平成 25 年度で「自転車競技」が 18.2%なのに対し、令和 2 年度は 4.2%と、14.0 ポイント下がっています。

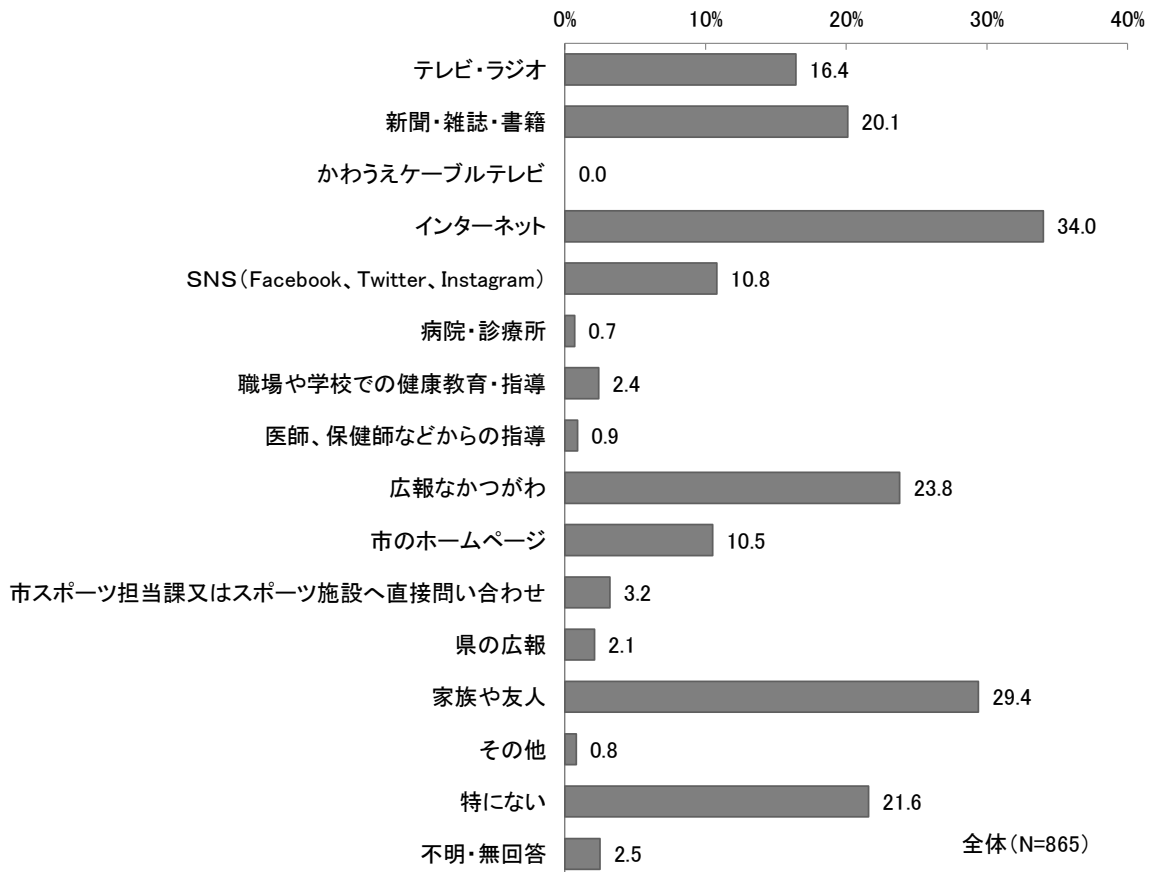


※「特にない」は令和2年度のみを選択肢

(6) 中津川市のスポーツ施策について

- ① あなたは、スポーツをしたいとき、情報をどのように入手していますか。
(あてはまるものすべてに○)

スポーツをしたいとき、情報をどのように入手しているかについて、全体で「インターネット」が34.0%と最も高くなっており、次いで「家族や友人」が29.4%となっています。



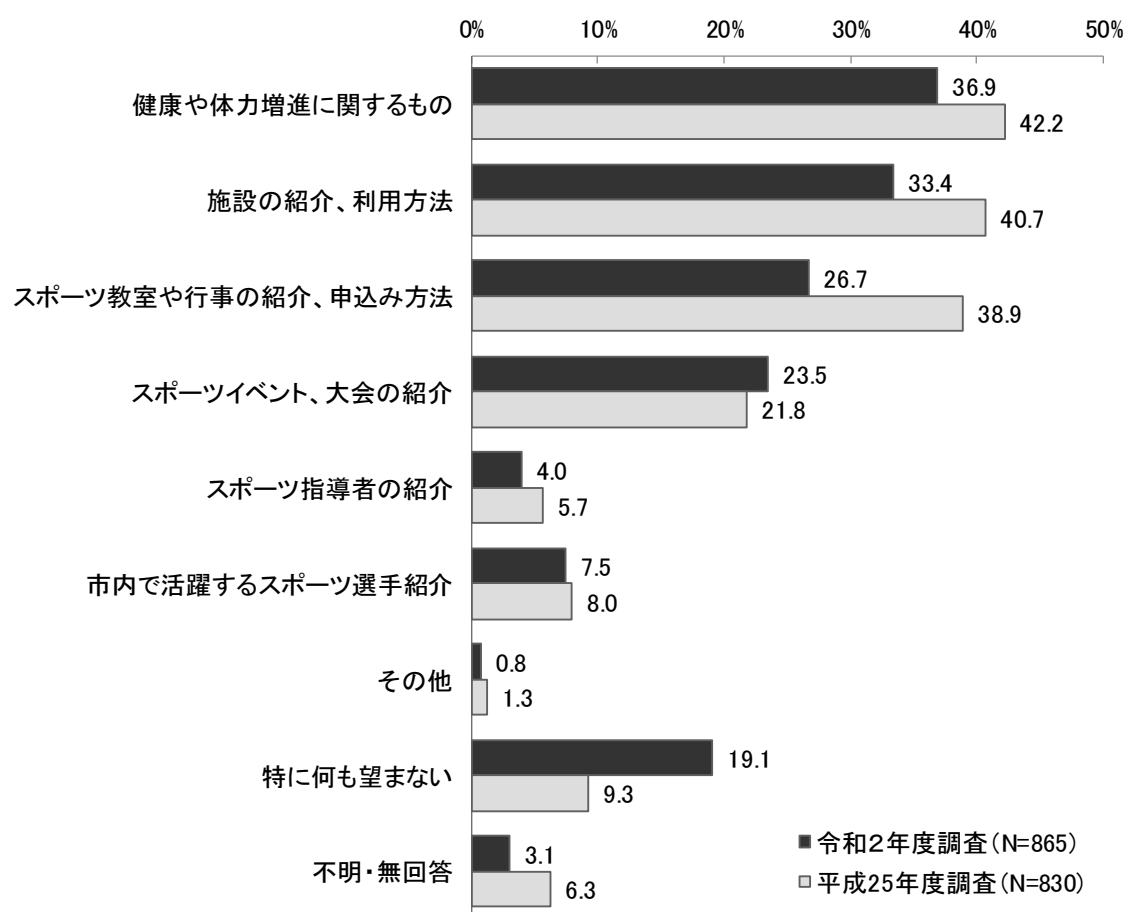
② 市が行うスポーツに関する情報提供に何を望みますか。（あてはまるものすべてに○）

市に求めるスポーツに関する情報について、全体で「健康や体力増進に関するもの」が36.9%と最も高くなっており、次いで「施設の紹介、利用方法」が33.4%となっています。

性別にみると、男性で「スポーツ教室や行事の紹介、申し込み方法」が19.2%なのに対し、女性は32.7%と、13.5ポイント高くなっています。

年齢別にみると、50歳代、60歳代、70歳代以上で「健康や体力増進に関するもの」がそれぞれ、39.2%、43.0%、45.8%と、他の年代と比べて高くなっています。

前回調査と比較すると、平成25年度で「スポーツ教室や行事の紹介、申し込み方法」が38.9%なのに対し、令和2年度は26.7%と、12.2ポイント下がっています。



■クロス集計

(単位%)

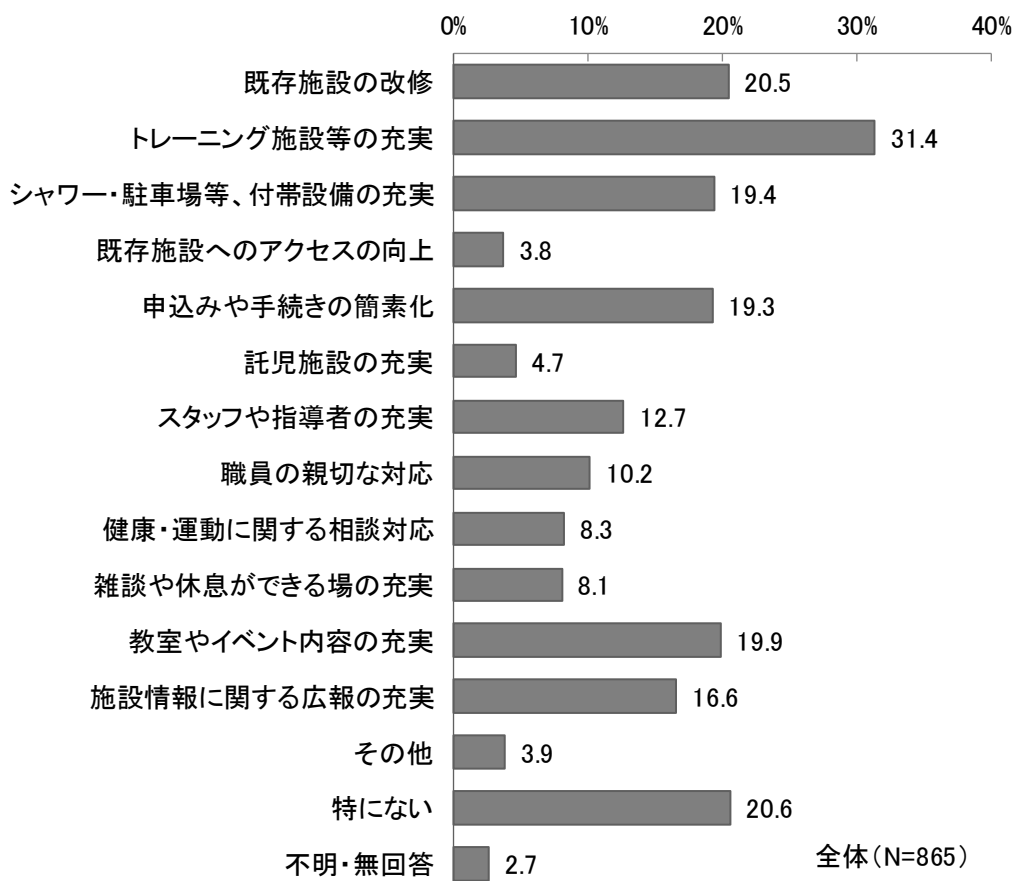
	健康や体力増進に関するもの	施設の紹介、利用方法	スポーツ教室や行事の紹介、申し込み方法	スポーツイベント、大会の紹介	スポーツ指導者の紹介	市内で活躍するスポーツ選手紹介	その他	特に何も望まない	不明・無回答
全体 (N=865)	36.9	33.4	26.7	23.5	4.0	7.5	0.8	19.1	3.1
【性別】									
男性 (N=385)	32.7	30.6	19.2	29.6	4.7	8.8	0.8	22.3	3.1
女性 (N=468)	40.0	35.0	32.7	18.6	3.4	6.4	0.9	16.7	3.2
【年齢別】									
20 歳代 (N=68)	26.5	39.7	23.5	27.9	0.0	5.9	2.9	22.1	2.9
30 歳代 (N=113)	29.2	40.7	31.0	26.5	4.4	8.8	0.0	22.1	1.8
40 歳代 (N=161)	28.6	36.0	34.8	23.6	8.1	7.5	0.0	14.3	1.9
50 歳代 (N=171)	39.2	34.5	29.2	21.6	4.1	12.3	1.8	18.1	1.2
60 歳代 (N=228)	43.0	31.1	25.4	24.1	2.2	5.7	0.4	20.2	3.5
70 歳代以上 (N=120)	45.8	21.7	12.5	19.2	4.2	4.2	0.8	20.0	8.3

③ 今後、市のスポーツ施設に求めることは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

市のスポーツ施設に求めることについて、全体で「トレーニング施設等の充実」が 31.4%と最も高くなっており、次いで「特にない」が 20.6%となっています。

性別にみると、男性で「教室やイベント内容の充実」が 11.4%なのに対し、女性で 26.5%と、15.1ポイント高くなっています。

年齢別にみると、30歳代で「託児施設の充実」が 20.4%と、他の年代と比べて高くなっています。



■クロス集計

(単位%)

	既存施設の改修	トレーニング施設等の充実	シャワー・駐車場等、付帯設備の充実	既存施設へのアクセスの向上	申込みや手続きの簡素化	託児施設の充実	スタッフや指導者の充実	職員の親切的な対応	健康・運動に関する相談対応
全体 (N=865)	20.5	31.4	19.4	3.8	19.3	4.7	12.7	10.2	8.3
【性別】									
男性 (N=385)	24.7	32.5	20.5	3.6	19.5	2.3	11.7	8.3	7.0
女性 (N=468)	17.1	30.1	18.8	4.1	19.0	6.6	13.0	11.8	9.6
【年齢別】									
20歳代 (N=68)	29.4	38.2	30.9	8.8	23.5	7.4	13.2	8.8	5.9
30歳代 (N=113)	21.2	45.1	23.9	5.3	16.8	20.4	6.2	16.8	5.3
40歳代 (N=161)	25.5	37.9	21.1	3.1	23.0	3.7	8.7	9.3	3.1
50歳代 (N=171)	22.8	35.1	20.5	0.6	21.6	0.6	14.6	10.5	8.2
60歳代 (N=228)	16.7	24.6	18.0	3.9	17.5	1.3	16.7	5.3	11.4
70歳代以上 (N=120)	11.7	14.2	8.3	5.0	15.0	2.5	14.2	15.0	13.3

	雑談や休息ができる場の充実	教室やイベント内容の充実	施設情報に関する広報の充実	その他	特にない	不明・無回答
全体 (N=865)	8.1	19.9	16.6	3.9	20.6	2.7
【性別】						
男性 (N=385)	6.5	11.4	13.8	4.7	24.9	3.1
女性 (N=468)	9.4	26.5	18.8	3.2	17.3	2.1
【年齢別】						
20歳代 (N=68)	14.7	19.1	10.3	4.4	10.3	0.0
30歳代 (N=113)	12.4	23.9	14.2	8.0	14.2	0.0
40歳代 (N=161)	8.7	23.0	16.1	3.7	14.3	2.5
50歳代 (N=171)	7.6	21.6	19.3	4.1	19.3	0.0
60歳代 (N=228)	5.3	17.1	18.0	2.2	29.4	3.5
70歳代以上 (N=120)	5.8	14.2	16.7	3.3	25.8	9.2

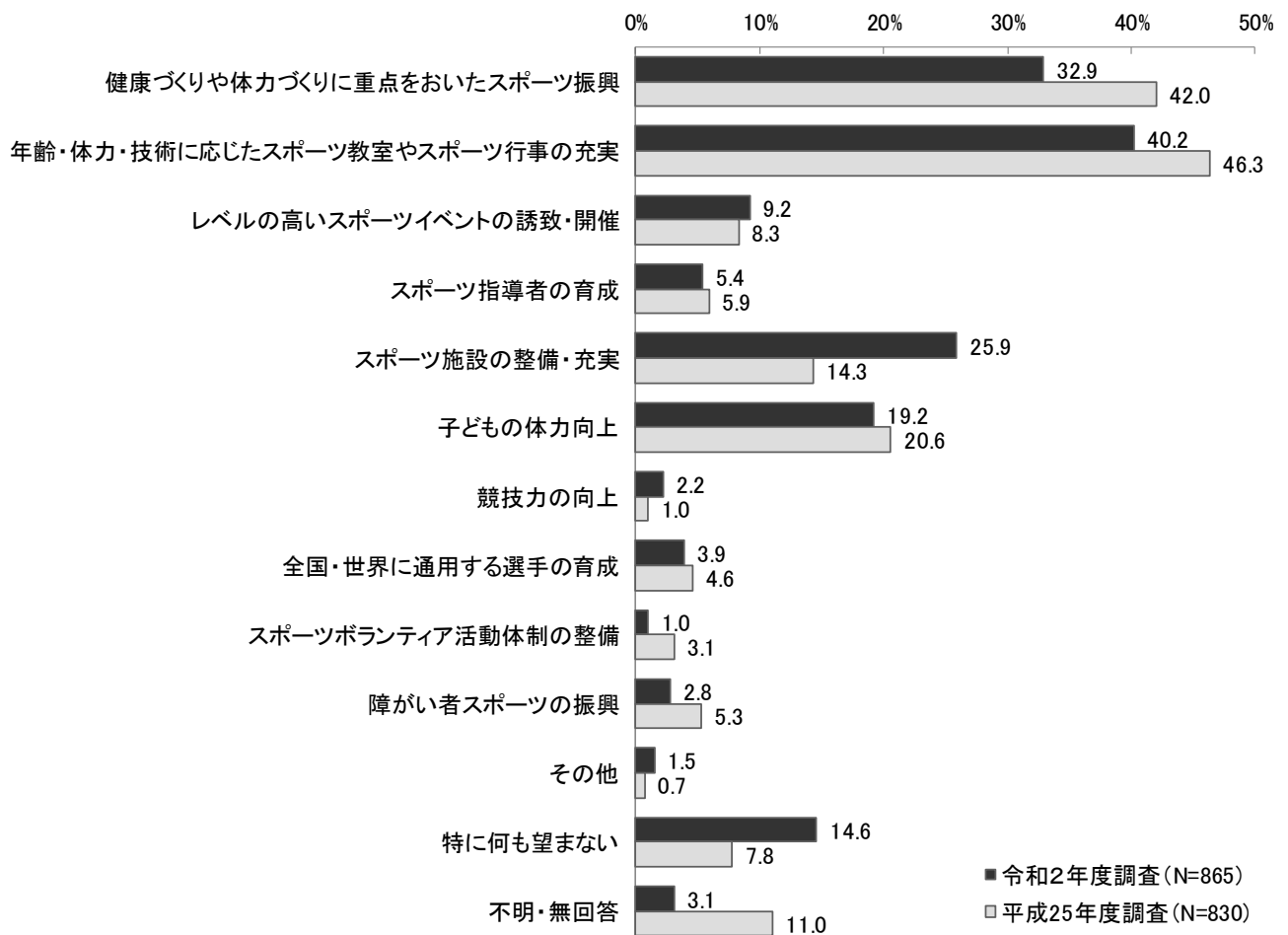
④ あなたは、市のスポーツ振興に対して何を望みますか。（あてはまるものすべてに○）

市のスポーツ振興に対して何を望むかについて、全体で「年齢・体力・技術に応じたスポーツ教室やスポーツ行事の充実」が40.2%と最も高くなっており、次いで「健康づくりや体力づくりに重点をおいたスポーツ振興」が32.9%となっています。

性別にみると、男性で「年齢・体力・技術に応じたスポーツ教室やスポーツ行事の充実」が32.5%なのに対し、女性は45.9%と、13.4ポイント高くなっています。

年齢別にみると、30歳代で「子どもの体力向上」が39.8%と、他の年代と比べて高くなっています。

前回調査と比較すると、平成25年度で「スポーツ施設の整備・充実」が14.3%なのに対し、令和2年度は25.9%と、11.6ポイント上がっています。



■クロス集計

(単位%)

	健康づくりや体力づくりに重点をおいたスポーツ振興	年齢・体力・技術に応じたスポーツ教室やスポーツ行事の充実	レベルの高いスポーツイベントの誘致・開催	スポーツ指導者の育成	スポーツ施設の整備・充実	子どもの体力向上	競技の向上	全国・世界に通用する選手の育成	スポーツボランティア活動体制の整備
全体 (N=865)	32.9	40.2	9.2	5.4	25.9	19.2	2.2	3.9	1.0
【性別】									
男性 (N=385)	29.1	32.5	14.3	5.7	27.3	16.4	3.9	6.0	2.1
女性 (N=468)	36.3	45.9	4.7	5.3	24.8	21.4	0.9	2.4	0.2
【年齢別】									
20歳代 (N=68)	35.3	30.9	4.4	4.4	33.8	23.5	5.9	1.5	1.5
30歳代 (N=113)	35.4	28.3	8.0	3.5	36.3	39.8	0.0	5.3	0.9
40歳代 (N=161)	29.2	36.0	13.0	8.1	31.1	24.8	1.9	4.3	1.2
50歳代 (N=171)	29.2	37.4	9.9	5.3	27.5	12.9	2.3	6.4	1.2
60歳代 (N=228)	34.6	46.5	9.6	5.7	19.3	14.0	2.6	2.2	0.9
70歳代以上 (N=120)	35.8	53.3	6.7	4.2	15.0	9.2	1.7	3.3	0.8

	障がい者スポーツの振興	その他	特に何も望まない	不明・無回答
全体 (N=865)	2.8	1.5	14.6	3.1
【性別】				
男性 (N=385)	2.1	1.8	17.9	2.9
女性 (N=468)	3.4	1.3	12.0	3.4
【年齢別】				
20歳代 (N=68)	5.9	2.9	11.8	1.5
30歳代 (N=113)	0.9	1.8	12.4	1.8
40歳代 (N=161)	1.9	0.0	13.0	1.9
50歳代 (N=171)	2.9	2.9	18.1	1.2
60歳代 (N=228)	3.1	1.3	14.9	3.9
70歳代以上 (N=120)	3.3	0.8	14.2	8.3

3 団体ヒアリング調査から見るスポーツの状況

(1) 調査概要

市内のスポーツに関わる団体に対し、活動を進めるにあたっての環境、指導体制、活動上の課題や今後必要な支援等をうかがい、スポーツによるコミュニティの形成・強化に向けた個別の課題や施策のアイデア・方向性を抽出し、計画の中間見直しの基礎資料とするためにヒアリング調査を実施しました。

■ヒアリング調査の概要

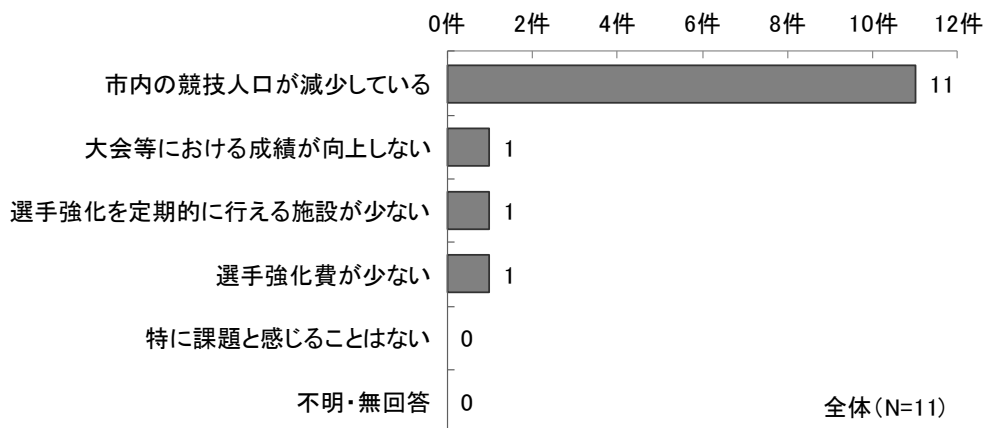
	内容
調査地域	中津川市全域
調査対象	中津川市でスポーツに関わる団体
調査方法	ヒアリングシートによる実施

(2) 市内のスポーツに対して感じていることについて

① 市内のスポーツ活動について、日頃感じている課題をお答えください。

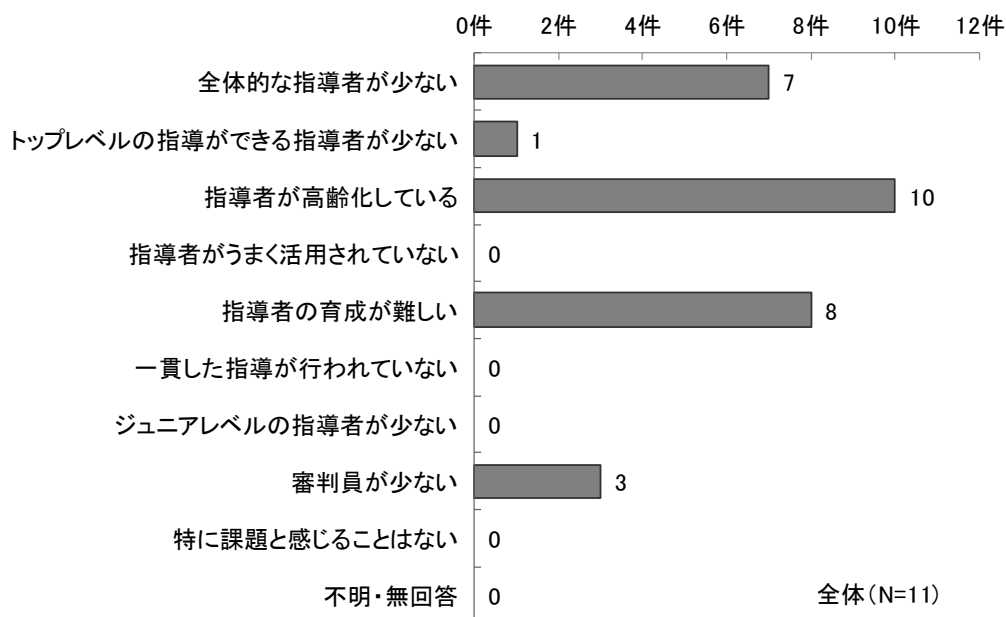
ア 競技人口・競技力について（○は2つまで）

競技人口・競技力についての課題は、「市内の競技人口が減少している」が11件と最も多くなっています。



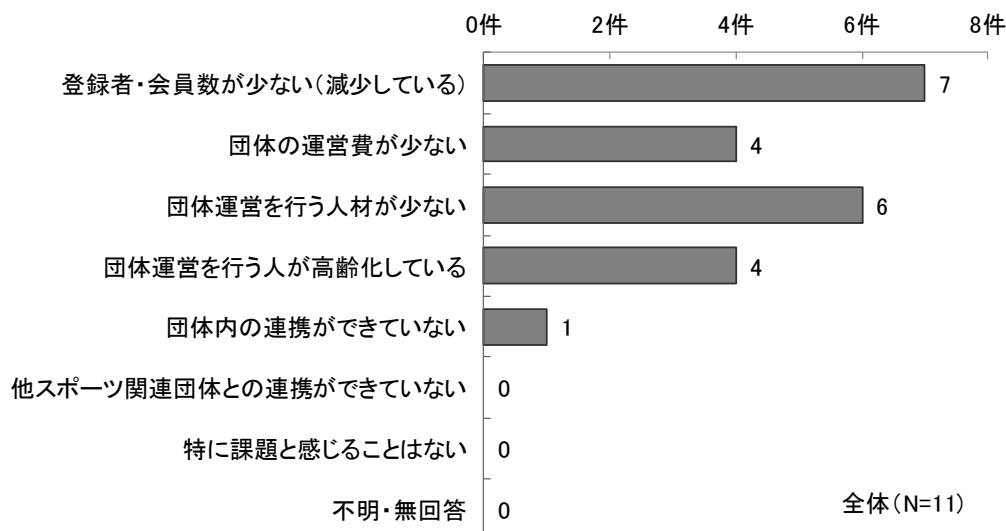
イ 指導者について（〇は3つまで）

指導者についての課題は、「指導者が高齢化している」が10件と最も多く、次いで「指導者の育成が難しい」が8件となっています。



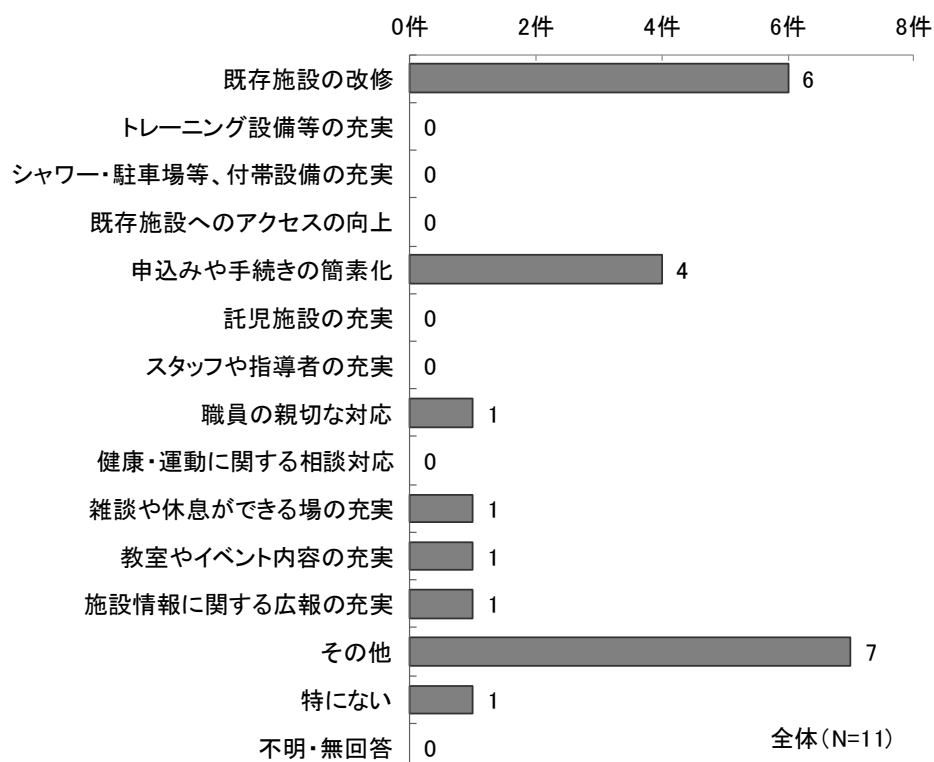
ウ 団体の運営について（〇は3つまで）

団体の運営についての課題は、「登録者・会員数が少ない（減少している）」が7件と最も多く、次いで「団体運営を行う人材が少ない」が6件となっています。



② 今後、市のスポーツ施設に求めることは何ですか。

今後、市のスポーツ施設に求めることは、「その他」が7件と最も多く、次いで「既存施設の改修」が6件となっています。なお、「その他」の具体的な内容としては、「施設設備・器材等の整備、充実」「施設利用料や予約など」について多くなっています。



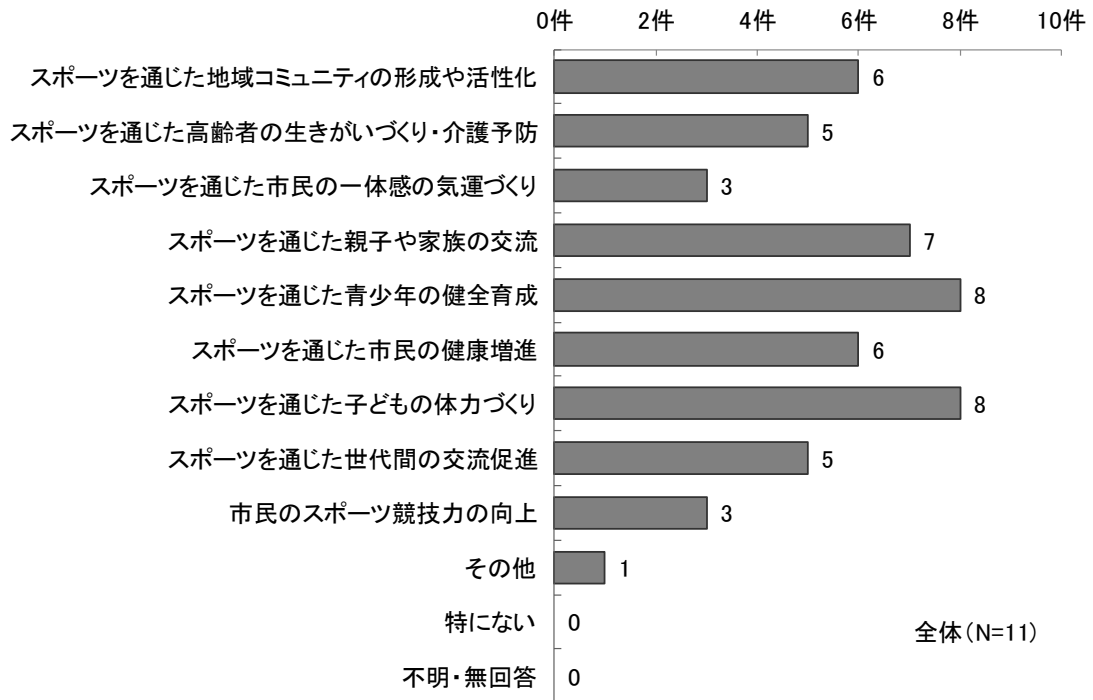
■ 「その他」の具体的な内容

「その他」回答	件数
■施設設備・器材等の整備、充実について	
○備品整備。	1
○機材不足。	1
○人工芝グラウンドの設置。	1
■施設利用料や予約などについて	
○誰もが気軽に使える施設。	1
○使用料金減免・有料の明確化。	1
○予約の仕方と減免制度。	1
■新型コロナウイルス感染症予防対策について	
○消毒など。	1

(3) 地域におけるスポーツ振興について

① 地域におけるスポーツ振興に向け、活動しながら心がけていることはありますか。

活動しながら心がけていることは、「スポーツを通じた青少年の健全育成」「スポーツを通じた子どもの体力づくり」がそれぞれ8件と最も多く、次いで「スポーツを通じた親子や家族の交流」が7件となっています。



(4) 今後の方向性について

① 団体において、活動をするうえでの課題はありますか。

自由記述
■競技人口、場所について
○少子化により生徒数が減り、指導者も少ないため、今後の継続的な活動ができるか心配である。
○選手数、指導者数の増員。
○子ども（小学生）のスポーツ離れにより、スポ少の加入率が低下している。
○指定管理を受け自主事業を企画して開催しておりますが、参加者の減少により、事業を行う都度赤字を計上する現状です。地域の住民がどのようなスポーツに関心があるのか、まったくつかめない状態です。自分の行いたいスポーツだけをやり、活動が特化してきている。
○地元に残る若者が少なく、加入者がほぼいない。
○活動場所の確保が難しい（他団体との取り合いみたいな状況になっている）。
■指導者について
○指導者の確保。
○世代交代をしたいが、責任を負える人材を育てるには課題がある。
○指導者の向上研修への参加が少ない（指導もあるので、なかなか時間が取れない等の理由）。参加してもらうにはどうしたらよいか。
○指導者の資格問題で、指導者個人で移行の手数料や登録料を払い、4年に一度の更新（更新料）と研修を受講する必要がある。そのため登録する指導者が減る傾向にある。
○審判員の高齢化、不足。
■運営資金や会費等について
○登録チームの経済的負担（チーム数が減ってきているため、負担金が増える）。
○若者を加入させても、活動費等の支払いに難色を示す。
○総合型の設立にあたって軌道に乗るまでの助成金が終了してしまった今、今後の活動の存続と、拠点となる場所、資金が難しい。
○総合型地域スポーツクラブを指定管理だけでなく、スポーツイベントや教室、健康維持のための講座等の企画運営を委託されるような活動をしたいので、総合型に予算をつけてほしい。
■活動の周知について
○総合型地域スポーツクラブというものが、行政にも、市民にも理解されていない。
○地域住民がスポーツに興味を持ってもらえる事業の充実を図る必要がある。
○行政と協働しながら、市民の皆さんがスポーツを楽しむ形をつくる必要がある。
■施設設備・器材等の整備、充実について
○スポーツを目的とした県外の人々の往来を増やすためにも、人工芝グラウンド等スポーツ施設を増やしたほうが良い。人の流れができれば市が盛り上がる。
■コロナ禍の影響について
○コロナの関係で大きなイベントが延期・中止となり、活動の場の減少。
○スタッフ間の連携を取る時間がなく、特に新型コロナ感染症拡大防止対策下においてはスタッフ会議、育成会会議の機会が持たなくて困っている。
■その他
○子どもの体力低下に伴い、心の育ちが不安定な子どもや過保護な保護者が増えている。
○組織が立ち上がったばかりで、種目団体間の交流、組織の目的等に理解不足の面がある。
○以前のような地域で行う活動は全体に薄れており、各地域にスポーツ関係の委員もいましたが、あまり協力を得られないのが現状です。

② 今後、団体として力を入れて取り組みたいことはありますか。

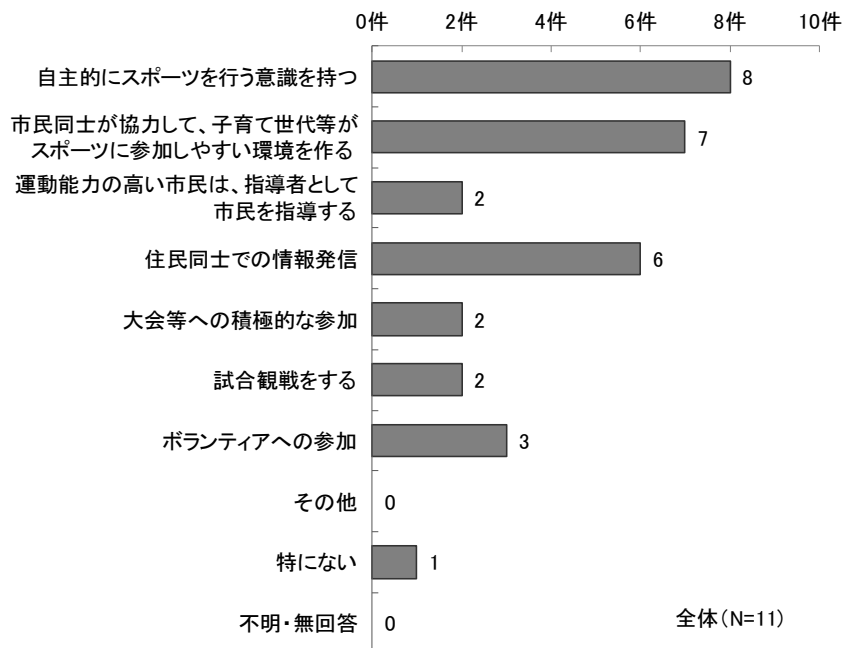
自由記述
■指導者の資質向上、育成
○指導者育成。
○指導者のレベルアップ、スキルアップ。
○指導者の資質向上。
○若い指導者の増員と育成。
■組織強化
○クラブ全体のレベル強化。
○スタッフの育成と保護者の協力体制の強化。
○組織の充実と連携。
○運営資金の確保（スポンサー及び協賛企業の確保）
○各大会での結果。
■競技人口の増加のための周知、募集
○加入団体を中心に、レクリエーションフェスティバルで市民の皆さんに体験していただきたい。
○子どもがスポーツを始めるきっかけづくりとなる事業。
○新規団員の募集。
○柔道は青少年の健全育成によいスポーツであることを周知し、競技人口の増加を目指したい。
■その他
○子どもの心身の成長を促す活動と、保護者への家庭教育支援の推進。
○段位審査等。
○障がい者スポーツへの取組。
○参加者が参加しやすい公民館講座や市民講座等を行政と協働することで、参加者はより参加しやすく、クラブとしても資金的に開催しやすくなる。
○市との関わり方。例として、清掃活動やイベントの手伝い等のボランティア。
○去年は、町協・青少年健全等組織と共催で事業を行いました。一つの事業を行うのに単体で行うより大変でしたが、今後も地域の様々な組織と共催し、地域全体で大きな事業が開催できればと考えます。また、諸団体への橋渡し役を市で行っていただけると助かります。
○乳幼児やシニア向けの講座や教室、イベントはあまり高い参加費の設定ができない。

- ③ 中津川市におけるスポーツ振興に向け、市との協働や他団体との連携で、できることはありますか。

自由記述
■イベントの共催やイベントへの参加
○イベントの共催等（可児徳ドッジボール大会等）。
○市総合体育大会における柔道競技によって、市内の競技者間の交流を図りたい。
○三市交流事業 夢ドッジへの参加。
○総合型地域スポーツクラブだからこそできることが沢山ある。
○中津川市ホームタウンデーへの参加。
○東濃地区交流会（駅伝、野球、サッカー、スケート等）。
○問7の3つ目の回答と同じで、様々なイベント等を通して市と関わりを持つ事は可能だと思います（手伝い、ボランティア等）。
■その他具体的な連携等内容
○イベント、行事等、広報を使用してPR活動がしたい。
○指導者研修会などの開催。
○各課（スポーツ課、市民福祉部、教育委員会）と連携を持ち、世代間交流を企画・開催したい。
■その他
○シニアの健康促進等、協働でできることはしていきたいと感じている。生涯学習スポーツ課、健康医療課、公民館、体協、教育委員会等、関係する部署の連携が必要。意見が出し合える機会が必要ではないか。
○上記で少し触れましたが、各地域にある様々な組織・団体（スポーツに限らず）と話し合える様な機会と橋渡し役を設けていただきたい。
○当クラブは競技至上主義ではなく、青少年健全育成と地域づくりを目指しています。市のスポーツ振興にも、協働して、市民の皆さんがスポーツを楽しめる機会を増やすために連携したいと考えていますが、当クラブが主体で動くことについては、本来の活動がおろそかになる可能性があるのもので難しい。しかし、市よりお声かけがあれば、対応させていただくことは可能である。
○市としてスポーツを盛り上げる。
○現在、公民館講座として補助をいただいているので、今後もその継続を希望します。
○収入源が会費しかない中で、運営していくのは困難。公民館講座、イベント企画、講師、スポーツ指導、健康福祉まつり、スポーツフェスティバル等、予算をつけてもらいたい。

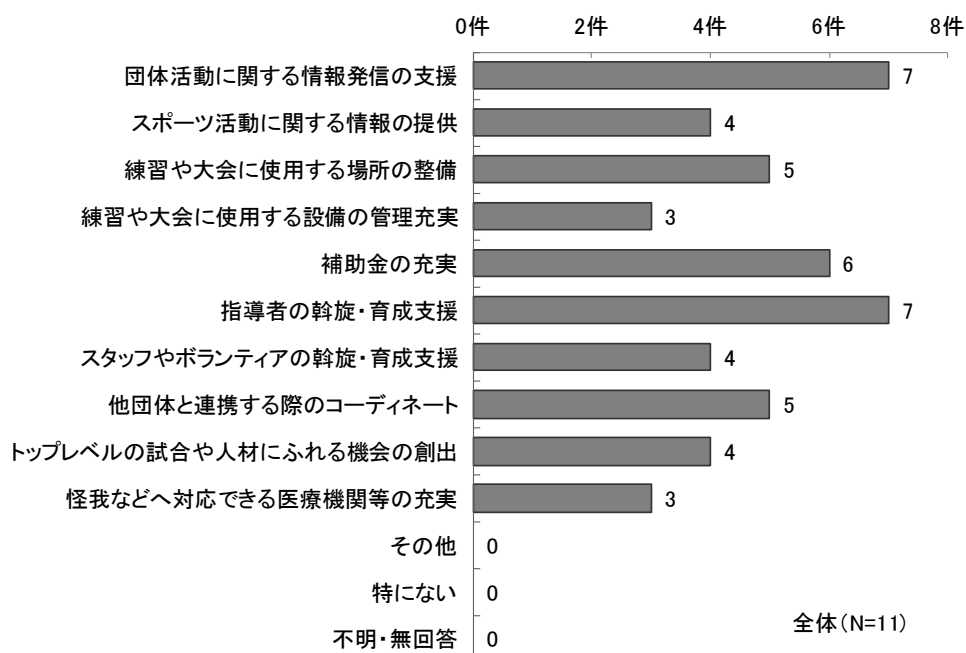
④ 中津川市におけるスポーツ振興に向けて、市民にどのような役割を期待しますか。
(あてはまるものすべてに○)

市民に期待する役割は、「自主的にスポーツを行う意識を持つ」が8件と最も多く、次いで「市民同士が協力して、子育て世代等がスポーツに参加しやすい環境を作る」が7件となっています。



⑤ 中津川市におけるスポーツ振興に向けて、市にどのような支援を期待しますか。
(あてはまるものすべてに○)

市に期待する支援は、「団体活動に関する情報発信の支援」「指導者の斡旋・育成支援」がそれぞれ7件と最も多く、次いで「補助金の充実」が6件となっています。



4 中津川市スポーツ推進計画の推進状況

本市では、「中津川市スポーツ推進計画」を策定し、「スポーツで人と地域が かがやくまちなかつがわ」という基本理念を掲げ、3つの基本目標に基づき施策を展開してきました。

このたび、「中津川市スポーツ推進計画」の中間見直しにあたり、計画策定後からこれまで進めてきた施策・事業の推進状況を整理します。

(1) 生涯にわたるスポーツ活動の推進

施策	取組内容・課題等
<p>1. 子どもが楽しめるスポーツ活動の推進</p>	<p>子どもがスポーツを楽しむために、総合型スポーツクラブや公民館で、親子を対象とした運動教室を実施してきました。</p> <p>今後も、子どもが身近に運動・スポーツを楽しめる環境づくりを進めることで、日常的に運動・スポーツに取り組む市民を増やすことが重要です。</p> <p>子どものスポーツ活動を推進するための取組として、平成 23 年度より日本サッカー協会が推進している「こころのプロジェクト『夢の教室』」事業を実施しており、市内小学校にトップアスリートを招き、トップアスリートと一緒にゲームを行ったり、経験談に基づく夢に関する授業を行っています。また、中学生以下の子どもたちを対象に、表彰委員会が定めるスポーツや文化の事業及び県大会・全国大会で優秀な成績を収めた個人及び団体に、その頑張りを称えて「中津川市子ども金メダル」を贈呈しています。</p> <p>一方、令和元年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果によると、平成 26 年度と比較して体力合計点が下がっていることから、子どもの体力低下が懸念されています。</p> <p>今後は、教育委員会だけでなく、スポーツ推進委員や総合型地域スポーツクラブなど、地域で活動しているスポーツ団体と一層の連携を図り、子どものスポーツ活動を総合的に推進する必要があります。また、国において平成 30 年に公表された「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」に基づき、適切な部活動運営のための整備に取り組む必要があります。</p>



こころのプロジェクト「夢の教室」



施策	取組内容・課題等
2. 成人期におけるスポーツ機会の充実	<p>本市では、乳幼児の子育てをしている女性を対象に、中津川市児童館・児童センターや子育て支援センター等で、親子でふれあいながら身体を動かすことができる運動教室の開催、仕事終わりに立ち寄ることができるスポーツ教室やスポーツ施設の充実、女性や若者といった特定の年齢を対象としたスポーツ教室やイベントの実施など、ライフステージに対応したスポーツ推進の取組を行ってきました。</p> <p>アンケート調査によると、週に1回以上スポーツをしている人の割合は44.7%となっています。スポーツを行えない理由としては、「仕事や家事が忙しいから」や「生活や仕事で体を動かしているから」の割合が高くなっています。</p> <p>今後は、特に30歳代、40歳代にスポーツ活動の啓発を行うとともに、子育てや仕事を行っていても参加しやすいスポーツ教室やイベントの開催に取り組む必要があります。</p>
3. 高齢者、障がい者のスポーツ活動の推進	<p>本市では、高齢者の介護予防を目的として、公民館での運動機能向上のための筋力・柔軟性を高めるリハビリ教室や、体操とレクリエーションを取り入れた運動教室などを開催してきました。また、高齢者を対象としたスポーツ大会等を実施し、高齢者が日常的に運動・スポーツに取り組む環境づくりを進めてきました。</p> <p>また、障がい者を対象としたスポーツ教室やイベントの実施が求められていることから、今後は障がい者も気軽にスポーツに取り組める環境づくりを進める必要があります。</p>
4. 競技スポーツの振興	<p>本市では、県内有数のスポーツ施設を有しており、競技スポーツの指導を充実させるとともに、中津川市体育協会等のスポーツ関係団体や障がい者団体との連携により、アスリートの育成や活動を支援してきました。また、令和3年に開催が予定されている東京オリンピック・パラリンピック競技大会を機に、アメリカ代表レスリングチームのホストタウンとして事前合宿を招致し、市民との交流を図りながらスポーツ意識の高揚に努めてきました。</p> <p>一方、市民がスポーツや運動をやってみたいと思う理由について、「健康のため」や「運動不足を感じるから」の割合が高くなっています。</p> <p>今後も、アスリートとの交流やプロスポーツ観戦事業を推進し、運動やスポーツに取り組む市民を増やすことが重要です。</p>



(2) スポーツを通じた地域づくりの推進

施策	取組内容・課題等
1. スポーツ推進委員の活動支援	<p>本市では、「一市民1スポーツ」の推進のための指導や助言、ニュースポーツの紹介や普及などの活動を促進するため、スポーツ推進委員の研修機会の充実や、活動にあたってのスポーツ施設等活動の場の提供による支援を行ってきました。また、地域スポーツ活動の核となる総合型地域スポーツクラブや各種団体との連絡調整の場を設け、協力体制の強化と連携を図っています。</p> <p>今後も、スポーツ推進委員と連携し、地域スポーツ活動の発展に取り組めます。</p>
2. 総合型地域スポーツクラブの活動支援	<p>スポーツ推進委員と同様、地域に根差したスポーツ活動の拠点として、各種の事業やスポーツ教室を行う場として支援を行ってきました。</p> <p>現在、市内で活動している総合型スポーツクラブは4つとなっています。</p> <p>また、アンケート調査によると、総合型スポーツクラブを知っているかについて、「名称も活動内容も知らない」が74.6%となっており、十分に認知されていない結果となっています。</p> <p>今後は、新たな総合型スポーツクラブの設立支援を行うとともに、市民への情報発信を通して、認知度向上につなげることが大切です。</p>
3. 地域のスポーツ活動の推進	<p>地域ごとに区民ソフトボール大会や区民マレットゴルフ大会などのスポーツ行事や地域内の交流とコミュニティ及び親睦を図る目的で、区民運動会を計画的に実施してきました。また、民間企業や近隣大学と連携し、スポーツイベントの周知・啓発や指導を実施してきました。加えて、豊かな自然環境や歴史文化財を活かした登山やウォーキングコースを設定し、パンフレット等による広報活動を行ってきました。</p> <p>一方で、区民運動会を実施している地区が減少しており、担い手の不足が課題となっています。</p> <p>今後も、スポーツを通じた地域づくりに向けて区民運動会やスポーツ行事を継続していくとともに、企業や大学と連携し、より市民が参加しやすい仕組みをつくっていきます。</p> <p>また、本市の豊かな自然資源や文化資源を活用したスポーツ活動の推進を図ります。</p>



西支部軽スポーツ祭

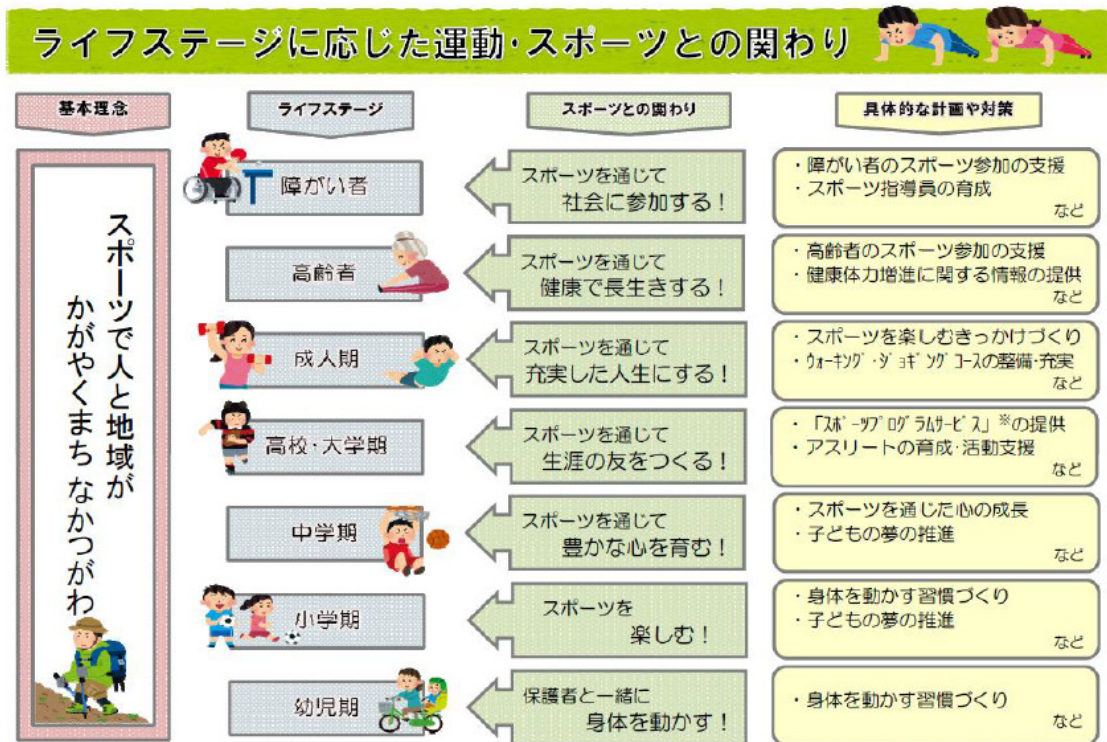


ウォーキングコース選定

(3) スポーツに親しむことのできる環境の整備・充実

施策	取組内容・課題等
<p>1. スポーツ施設・設備の整備・充実</p>	<p>既存のスポーツ施設について、利用者の安全性と利便性を考慮し、必要に応じて施設の改修・修繕を実施してきました。また、地区ごとにウォーキングコースを設定し、市民が身近で気軽にスポーツ活動に取り組める環境整備に努めてきました。</p> <p>アンケート調査によると、この1年間に取り組んだスポーツ、今後取り組みたいスポーツともに「ウォーキング」が高いことから、今後はウォーキング教室を開催するなど一層の啓発に努めます。</p> <p>一方、市のスポーツ施設に求めることについて「トレーニング施設等の充実」「既存施設の改修」が高くなっていることから、今後は市民のニーズをしっかりと把握し、適切に対応する体制の整備が重要です。</p>
<p>2. スポーツ施設の利用促進</p>	<p>施設利用のニーズに応じた適切な維持管理を進めるため、地域・関係団体による指定管理を促進してきました。また、学校施設を市民の文化・スポーツ活動に活用する学校開放を行い、多くの市民に利用されています。</p> <p>スポーツ施設の利用人数・稼働率については、サンライフ中津川や各地域のB&G海洋センター等の体育館の利用が多くなっています。</p> <p>今後は、市民のニーズを把握し、地域・関係団体による指定管理を進めるとともに、施設の利用料金の見直し検討も行っていきます。</p>
<p>3. スポーツ団体・指導者の育成・支援</p>	<p>中津川市体育協会の加盟団体やスポーツ少年団が開催するスポーツ行事等への支援を行い、市民がスポーツに親しめる環境の充実を図ってきました。また、スポーツ推進委員やスポーツ関係団体など、本市のスポーツ推進を担う人材と連携し、活動の推進を図ってきました。</p> <p>アンケート調査によると、指導者のニーズについて「スポーツの楽しみ方やスポーツへの興味・関心がわくような指導ができる人」「健康・体力づくりのための運動やスポーツの指導ができる人」が求められています。</p> <p>今後は、スポーツ団体との連携を図り、スポーツ指導者の研修機会の充実や新たなスポーツ指導者の発掘・育成に努めます。また、スポーツ指導者登録システムを構築し、適切なスポーツ指導者の派遣体制を整備します。</p>
<p>4. スポーツに関する情報やニーズの把握と活用</p>	<p>各地域の総合事務所・地域事務所を拠点として各種スポーツ教室やスポーツ行事を実施し、情報を集約し、広報やホームページ等で、わかりやすく情報提供してきました。</p> <p>一方、FacebookやTwitterなどSNSを活用した情報発信を行う体制が整備されておらず、市民への周知は十分でないと考えられます。</p> <p>アンケート調査によると、市に求めるスポーツに関する情報について、「健康や体力増進に関するもの」や「施設の紹介、利用方法」が高くなっています。</p> <p>今後は、市民のニーズに合った情報を様々な媒体で発信することで、より多くの市民に周知することが重要です。</p>

■ ライフステージに応じた運動・スポーツとの関わり





第4章 計画の基本的な考え方

1 基本理念・数値目標

(1) 基本理念

本市では、「中津川市総合計画（平成27年度～令和8年度）」の将来都市像である「かがやく人々 やすらげる自然 活気あふれる 中津川」の実現に向けて様々な施策を推進してきました。また、文化スポーツに関する基本理念として「人々がかがやくまち中津川」を掲げ、政策の柱として「いきいきと暮らせるまち」を打ち出しています。

本計画の策定以降、社会情勢は変化し続けており、心と体の健全な発達を促し、人生をより充実したものとするとともに、明るく豊かで活力に満ちた社会の形成に寄与するスポーツ活動の推進がますます重要になっています。

このような状況を踏まえ、基本理念「スポーツで人と地域が かがやくまち なかつがわ」を継承し、豊かな自然環境と充実したスポーツ環境のもと、市民一人ひとりがスポーツに親しみ、スポーツを通じて健康づくりと地域の絆を深める、いきいきと暮らせるまちを目指すための施策を展開します。

スポーツで人と地域が かがやくまち なかつがわ

(2) 数値目標

本計画では、基本理念である「スポーツで人と地域が かがやくまち なかつがわ」の実現に向けて、成人の週1回以上のスポーツ実施率を数値目標として設定しています。

国のスポーツ基本計画では、成人の週1回以上のスポーツ実施率を65%程度にすることを目標としています。それを踏まえ、本計画の数値目標を以下のとおりに設定します。

**成人の週1回以上のスポーツ実施率を、
現状の44.7%から、令和8年度までに65%以上にします！**

平成26年度	令和2年度	令和8年度
31.2%	44.7%	3人に2人以上
	(計画当初目標値 50%)	

2 基本方針

基本理念の実現に向け、スポーツ活動を推進するにあたっての基本方針を、以下のとおり設定します。

基本方針1 生涯にわたるスポーツ活動の推進「一市民1スポーツ」

スポーツの推進には、健康増進や体力向上、精神修養、青少年の成長、地域コミュニティの活性化などの様々な効果が期待されています。しかし、本市のスポーツ実施率からも分かるように、仕事や家事で忙しい、スポーツ施設が身近にないといった理由から、全ての人がスポーツに親しむことができているわけではありません。

しかし、野球やサッカーといったいわゆる競技スポーツ以外に、ランニングやジョギング、ウォーキング、健康体操といった身体活動などの生涯スポーツも人気があり、市民一人ひとりが、自分のライフステージに合わせて、身近なスポーツを取り入れることで、スポーツに取り組む裾野を広げていきます。

基本方針2 スポーツを通じた地域づくりの推進「スポーツが深める地域の絆」

近年、少子高齢化や空き家の増加などが問題視されており、地域コミュニティの崩壊も危惧されています。本市においても少子高齢化の影響は顕著に表れており、近頃は子どもが外で遊ぶ姿を見なくなったという声も聞かれます。

市では、各地域においてスポーツ教室・行事を開催しており、スポーツの振興による地域コミュニティの維持・活性化を進めています。こうした地域コミュニティづくりを継続して進めていくとともに、総合型地域スポーツクラブを中心として、世代間を超えた交流の促進を図ります。

基本方針3 スポーツに親しむことのできる環境の整備・充実「充実したスポーツ環境」

本市には比較的充実したスポーツ環境が整っています。一方で、総面積が676.45km²、県下6番目の広さを持つ本市では、全ての人の身近にスポーツ環境が整っているとは言えません。特に、少子高齢化が進む中、健康づくりを目的とした運動の需要が高い高齢者においては、スポーツ施設に行く手段も限られており、スポーツ活動が制限されてしまう現状にあります。

こうしたことを踏まえ、身近で気軽にスポーツに親しむことのできる環境の整備を図るため、各地域にウォーキング・ジョギングコースの設定を積極的に行いました。こうしたスポーツ環境だけでなく、公民館講座での健康づくり教室や、スポーツ指導者や関係団体の支援・連携、情報の提供といったソフト面の充実を図ります。また、既存施設の維持管理の面から、「市有財産（施設）運用管理マスタープラン」による統廃合をはじめとする施設の適切な維持管理も推進します。

スポーツで人と地域がかがやくまちなかつがわ

1 生涯にわたるスポーツ活動の推進
「一市民1スポーツ」

- 1 子どもが楽しめるスポーツ活動の推進
- 2 成人期におけるスポーツ機会の充実
- 3 高齢者、障がい者のスポーツ活動の推進
- 4 競技スポーツの振興

2 スポーツを通じた地域づくりの推進
「スポーツが深める地域の絆」

- 1 スポーツ推進委員の活動支援
- 2 総合型地域スポーツクラブの活動支援
- 3 地域のスポーツ活動の推進

3 スポーツに親しむことのできる環境の整備・充実
「充実したスポーツ環境」

- 1 スポーツ施設・設備の整備・充実
- 2 スポーツ施設の利用促進
- 3 スポーツ団体・指導者の育成・支援
- 4 スポーツに関する情報やニーズの把握と活用

- (1) 幼児期からの運動習慣づくり
- (2) 学校体育の推進とクラブ活動の活性化
- (3) 学校と地域との連携
- (4) 子どもの夢の推進
- (1) スポーツを楽しむきっかけづくり
- (2) 多様なニーズに応じたスポーツ機会の提供
- (3) スポーツを通じた健康づくりの推進
- (4) 「スポーツプログラムサービス」の提供
- (1) 高齢者のスポーツ参加の支援
- (2) 障がい者のスポーツ参加の支援
- (1) アスリートの育成・活動支援
- (2) 優れたスポーツを観る・ふれる機会の充実
- (3) 競技スポーツ意識の高揚
- (1) スポーツ推進委員の育成及び活動しやすい環境の整備
- (1) 総合型地域スポーツクラブの設立支援
- (2) 総合型地域スポーツクラブの活動支援
- (1) スポーツ行事の開催
- (2) 地域スポーツと企業・大学との連携
- (3) 地域資源を活かしたスポーツ活動の推進
- (1) 安心・安全なスポーツ環境の維持
- (2) ウォーキング・ジョギングコースの活用促進
- (3) スポーツツーリズムの拠点としての活用
- (4) 「市有財産（施設）運用管理マスタープラン」に基づく施設管理
- (1) 地域・関係団体による指定管理
- (2) 学校開放施設の活用促進
- (3) 利用者ニーズに応じた施設利用方法の見直し
- (4) スポーツ施設の利用料金の見直し
- (1) スポーツ関係団体の活動支援
- (2) スポーツ指導者登録バンクの活用
- (3) スポーツ指導者の育成
- (1) スポーツ情報の発信
- (2) スポーツに関する市民ニーズの把握



第5章 具体的施策の展開

基本方針1 生涯にわたるスポーツ活動の推進

施策方針1 子どもが楽しめるスポーツ活動の推進

身体を動かせる空き地や生活道路等の減少、室内遊びの増加等により、外遊びやスポーツ活動をする機会が減少し、子どもの体力低下が大きな問題となっています。

また、スポーツをする子としない子の二極化が進み、体力格差が進んでいることも問題となっています。

幼少期の頃からスポーツに親しみ、身体を動かす習慣を身につけることが、生涯を通じた健康や体力の保持・増進のための基礎となることから、学校をはじめ、地域や関係機関等と連携し、子どもたちが適切な環境のもとでスポーツに親しむことができる機会を拡大していきます。

(1) 幼児期からの運動習慣づくり

幼少期に身体を動かす遊びに親しみ、身体を動かす楽しさを知ることが、その後のスポーツへの取組に大きく影響するため、本市においては、総合型スポーツクラブの活動や公民館講座等により親子を対象とした運動教室を実施しています。

スポーツ・運動の習慣化に向けて、引き続き教育委員会等と連携し、幼児や子ども、その保護者を対象とした親子での運動教室や親子のふれあいあそびを開催します。

また、子育てセミナーの機会を活用し、体育・運動指導員による親子体操指導を実施します。

(2) 学校体育の推進とクラブ活動の活性化

令和元年度の「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果によると、全国的に小・中学生の体力が前年度より低下している状況にあります。岐阜県の種目別平均点は、小学生、中学生ともに全国平均を上回っている種目が多い傾向にあるものの、平成26年度と比較すると、小学生男子、中学生男子は体力合計点が減少しています。

子どもたちの体力の向上に向けて、教育委員会と中津川市体育協会が連携し、子どもたちがスポーツに日常的に親しむ機会である学校体育のさらなる推進とクラブ活動の活性化に取り組めます。

また、学校体育やクラブ活動においては、スポーツのルールや方法だけでなく、目標を設定してその実現に向けて努力をすることや仲間と協力することの大切さ、他者への思いやり、スポーツ活動を支えてくれる人への感謝の気持ちなどを学べるよう指導を行います。

そのほか、児童生徒のニーズに応じた安心・安全で持続可能なクラブ活動に向けて、適切な運営体制や活動のあり方についても検討を行っていきます。

(3) 学校と地域との連携

価値観の多様化に伴いスポーツに対するニーズは多様化し、子どもたちのスポーツ活動に対するニーズも広範に及んでおり、学校における体育の授業やクラブ活動だけでは十分とは言えなくなっています。

本市では4つの総合型地域スポーツクラブやスポーツ推進委員による活動など部活動以外での活動の場も充実しており、地域ぐるみで子どものスポーツ活動への支援が行われています。

今後も引き続き、総合型地域スポーツクラブやスポーツ推進委員といった地域で活動しているスポーツ団体等と連携し、子どもたちのスポーツ活動を総合的に推進します。

(4) 子どもの夢の推進

本市では、子どもたちがスポーツを通じて自分の夢を見つけたり、目標達成のために自分たちで工夫することや挑戦することの大切さを学んだりして、目標の実現に向けて何をすべきかを考えるきっかけづくりとなるよう、日本サッカー協会が推進している「こころのプロジェクト『夢の教室』」事業を平成23年度より実施しています。「夢の教室」では、市内の小学校にトップアスリートを招き、一緒にゲームをしたり、夢を持つことや、その夢に向かって努力することの大切さ、仲間と協力することの大切さなどを伝えたりする授業を行っています（小学校5年生が対象）。

また、本市に在住する中学生以下の子どもたちを対象に、中津川市子ども金メダル表彰委員会が定めるスポーツ・文化事業や県大会・全国大会で優秀な成績を収めた個人・団体に、その頑張りを称えて「中津川市子ども金メダル」を贈呈しています。

今後も「夢の教室」や表彰制度等の推進により、子どもたちの自信と誇り、豊かな心を育み、未来を担う子どもたちを地域ぐるみで育成していきます。



中津川市子ども金メダル授与式



中津川市子ども金メダル

施策方針2 成人期におけるスポーツ機会の充実

運動不足は生活習慣病の発症リスクを高める要因のひとつとなっていますが、生活様式の変化により運動不足の人が増加傾向にあり、特に働き盛り世代や子育て世代は仕事や家庭に時間をとられ、スポーツを楽しむゆとりがないのが現状です。

アンケート調査の結果をみても、8割以上の人が運動不足を感じていると回答しており、約3割が運動やスポーツを行っていないと回答しています。その理由としては、仕事や家事が忙しいと回答する人が最も多く、約5割となっています。

日々の忙しさに追われている働き盛り世代や子育て世代が、気軽にスポーツに関わることのできる機会を提供するとともに、継続してスポーツ活動に取り組むことができるような環境を整備します。

(1) スポーツを楽しむきっかけづくり

アンケート調査の結果をみると、週に1日以上スポーツや運動を行っていない人のうち、約7割の人が定期的にスポーツや運動をしてみたいと回答しており、これまでスポーツや運動を行ってこなかった人に対してのきっかけづくりが重要になっています。

スポーツを楽しむきっかけづくりとして、自身の健康づくりやスポーツの重要性に関する啓発を行うとともに、総合型スポーツクラブ、中津川市体育協会等と連携し、同年代の仲間づくりにつながるスポーツ教室など、スポーツを体験してみよう、参加してみようと思えるような事業を展開します。

(2) 多様なニーズに応じたスポーツ機会の提供

成人期は働き盛り世代や子育て世代にあたり、仕事や家事によってスポーツに親しむ時間が制限されていることがあり、それぞれのニーズに応じたスポーツの機会を提供していくことが求められます。

本市においては、公民館講座等により年齢層に合わせた教室を実施するとともに、中津川市児童館や児童センター、子育て支援センター等での親子を対象とした運動教室、仕事終わりに立ち寄ることができるスポーツ教室等を実施しています。

今後も引き続き、働き盛り世代や子育て世代を対象としたスポーツ教室やイベントの実施など、多様なスポーツ機会の充実を図ります。

(3) スポーツを通じた健康づくりの推進

健康に対する関心の高まりから、スポーツを実践する人の数は近年増加傾向にありますが、運動不足と感じている人、週1日以上スポーツや運動を実践していない人も多くみられます。

本市では健康増進計画として、「健康なかつがわ 21（第二次）」を策定しており、計画の「生活習慣の改善」の項目の中で、市民の健康に対する意識を高めることにより、より多くの市民が運動や体力づくり、スポーツを実践し、健康寿命の延伸につなげていくことを目指しています。さらに、「中津川市健康づくり推進条例」の制定や「健康都市なかつがわ宣言」により市民一人ひとりの主体的な健康づくりの取組を支援し、全ての市民が健康寿命を延ばし、生涯にわたり健康でいきいき心豊かに暮らしていけるまちづくりを推進しています。

「中津川市健康づくり推進条例」や「健康都市なかつがわ宣言」の考え方のもと、「健康なかつがわ 21（第二次）」との整合を図り、スポーツの推進により市民の生涯にわたる健康の実現を目指します。

■健康づくりに関する条例・宣言

「中津川市健康づくり推進条例」（前文）

生涯にわたり健やかでいきいきと心豊かに暮らしていくことは、すべての市民の願いです。

その願いを叶えるには、一人ひとりが、日ごろの運動や食生活等が自らの健康に及ぼす影響を自覚し、自らが進んで生活習慣の改善に取り組み、体や心の健康の保持と増進に努めなければなりません。そして、その取組を社会全体で支援していくことが必要です。

すべての市民が、いつまでも健康で幸せに暮らせる中津川市をつくるために、この条例を定めます。

「健康都市なかつがわ宣言」

やすらげる自然に包まれたこのまちで、みんなが健康でいきいきと暮らし続けることは私たちの願いです。

私たちは、「自らの健康は自らがつくる」を基本に、子どもからお年寄りまで、すべての市民が健康寿命を延ばし、いつまでも幸せに暮らせる中津川市をつくるために、ここに「健康都市なかつがわ」を宣言します。

- 一、安全で美味しい地元の食材を利用して、バランスのよい食事を楽しみます。
- 一、豊かな自然と美しい景観に親しみながら、楽しく身体を動かします。
- 一、趣味や特技で生きがいをつくり、地域の絆を大切に心の健康をめざします。

平成 27 年 2 月 11 日宣言

(4) 「スポーツプログラムサービス」の提供

地域で行われるスポーツプログラムには、種目別の大会やスポーツイベント、スポーツ教室、スポーツフェスティバル、体力テストなど、多様なプログラムが存在しています。

こうしたプログラムの作成にあたっては、市民のニーズや運動レベルに応じて、適切なタイプを選び、組み合わせて提供する「スポーツプログラムサービス」に取り組みます。

また、プログラム前の練習やプログラム後の継続的な運動につながるよう、多様なタイプのプログラムを時系列的に組み合わせるなど、効果的な提供を検討します。

■スポーツプログラムサービスのタイプ

【例】

例1) 各種スポーツ教室やスポーツイベントの開催に合わせて、軽スポーツの講習会などを開催する

例2) 少年野球教室の開催に合わせて、スポーツ講演会を開催する

タイプ	特性
1. 競技プログラム	競う（競争・競技・記録）
2. レクリエーションプログラム	運動すること自体を楽しむ 集い交わることを楽しむ
3. 学習プログラム	学ぶ・高める
4. テストプログラム	試す・確かめる
5. トレーニングプログラム	体を鍛える・健康度を高める
6. 発表プログラム	発表－観る・鑑察する

出典：公益財団法人全国スポーツ推進委員連合機関誌「みんなのスポーツ」



ドラゴンズ野球教室 & トークショー



施策方針3 高齢者、障がい者のスポーツ活動の推進

高齢化が進む中、高齢期を豊かに過ごすためには心身の健康が不可欠であり、スポーツは健康の保持・増進や介護予防に大きな役割を果たします。また、生きがいつくりや仲間づくりの視点からも、高齢者や障がい者の地域でのスポーツ活動を通じた社会参加を促進することは大変重要であり、スポーツ基本法においても「スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは全ての人々の権利である」とされています。

生涯にわたる健康の保持・増進に向けて、高齢者や障がい者が身近な場で気軽にスポーツを楽しめるよう、ニーズや個々の状況に応じた活動の場を提供するなど、スポーツ環境の整備が求められています。

(1) 高齢者のスポーツ参加の支援

本市では、高齢者を対象としたスポーツ大会を実施し、高齢者が日常的にスポーツに取り組める環境づくりを進めてきました。また、高齢者の介護予防を目的として、筋力・柔軟性を高めるリハビリ教室や、体操とレクリエーションを取り入れた運動教室などを開催してきました。

今後も引き続き、ウォーキング大会やゲートボール大会、マレットゴルフ大会、シルバースポーツ大会等、高齢者を対象としたスポーツ大会を実施するとともに、各地区の公民館講座において高齢者を対象とした健康づくり・介護予防教室を開催します。

(2) 障がい者のスポーツ参加の支援

障がい者のスポーツ参加を推進するにあたっては、障がいの種類や程度に配慮した活動の場を整備することが求められていますが、障がい者を対象とした教室、イベントの企画は進んでいないのが現状です。

障がい者のスポーツ参加の推進に向け、障がいの有無に関わらず、誰もが取り組めるスポーツ教室やイベントが開催できるよう、企画調整に取り組みます。

また、既存のスポーツ施設において、誰もが利用できるトイレ等の整備や、障がい者施設において気軽に身体を動かすことができる運動器具等の設置などを推進し、障がい者がスポーツに参加しやすい環境を確保します。

■岐阜県身体障がい者東濃ブロック体育大会

岐阜県及び岐阜県身体障害者スポーツ協会は、県下の身体障がい者の社会参加並びに健康増進のために、圏域毎に毎年体育大会を開催しています。

東濃ブロック体育大会では、東濃5市（多治見市、中津川市、瑞浪市、恵那市、土岐市）の対抗戦で、陸上競技（競争・跳躍・投てき）やフライングディスク競技（ディスタンス・アキュラシー）が行われており、陸上競技の上位入賞者は、選考会を経て県大会や全国障害者スポーツ大会への道を開くこともできます。

市では、今後も岐阜県身体障害者スポーツ協会と調整を図りながら、障がい者スポーツの普及並びに推進を行います。

施策方針4 競技スポーツの振興

人間の可能性や記録に挑戦する競技スポーツは競い合いの場としてだけでなく、目標に向けて挑戦をする楽しさや苦しさ、達成する喜び、達成できなかった悔しさなどを感じる場でもあり、競技者自身の人間性を高める場でもあります。また、本市で育った競技選手が、国民体育大会やオリンピックといった大きな舞台で活躍することは、市民に夢や感動を与えるだけでなく、市民のスポーツに対する意識を高めることにつながります。

本市では、県内有数のスポーツ施設を有しており、全国・国際規模の大会に出場する選手を輩出するなど大きな成果を上げています。

これから先も国民体育大会やオリンピック出場という大きな目標を持ってトップアスリートを目指す人材が育つよう、より高い技能や記録に挑戦し、競技力の向上を図ることができると環境づくりを推進していきます。

(1) アスリートの育成・活動支援

本市は県内有数のスポーツ施設を有しており、こうした環境を活かし、競技スポーツの指導を充実させるとともに、中津川市体育協会等のスポーツ関係団体や障がい者団体との連携により、アスリートの育成や活動を支援してきましたが、スポーツ団体へのヒアリング調査では、市内の競技人口の減少が課題になっていることが指摘されています。

今後も引き続き、中津川市体育協会等のスポーツ関係団体や障がい者団体等の関連機関との連携を図り、アスリートの育成や活動を支援します。

また、市や県・国の代表として全国・国際規模の大会等に出場する個人や団体に対し、「中津川市ひとつづくり激励金」を交付し、その活動を支援します。

(2) 優れたスポーツを観る・ふれる機会の充実

スポーツの「楽しさ」はスポーツの価値の中核であり、スポーツを「する」だけでなく「観る」こともスポーツへの関わり方のひとつです。優れたスポーツを観たりふれたりすることは、子どもたちやアスリートにとって憧れや目標を抱く機会になり、競技人口の増加にもつながります。

また、スポーツを観る、応援するということがスポーツをすることが苦手な人でも気軽にできることであり、スポーツに関心を持つきっかけにもつながります。

本市では、市内在住のトップアスリートの協力によるスポーツ教室の開催や、こころのプロジェクト「夢の教室」などにより、子どもたちがトップアスリートと一緒にスポーツをしたり、学んだりする機会の提供を推進してきました。

今後も事業の推進により、子どもたちがアスリートにふれる機会の充実を図るとともに、市民がプロスポーツをはじめ、優れたスポーツを観る・ふれる機会の充実に取り組みます。

(3) 競技スポーツ意識の高揚

令和3年に予定されている東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催は、市民がスポーツに興味・関心を持つきっかけとなることが期待されます。

本市においては、アメリカ代表レスリングチームのホストタウンとして事前合宿を招致し、市民のスポーツ意識の高揚に努めてきました。

今後は東京2020オリンピック・パラリンピックに関する情報やプロスポーツに関する情報をはじめ、競技スポーツに関する情報を積極的に発信するなど、市民の競技スポーツに対する意識の高揚を図ります。



ホストタウン交流、米国レスリング女子チーム夏季合宿

基本方針2 スポーツを通じた地域づくりの推進

施策方針1 スポーツ推進委員の活動支援

スポーツ基本法においてスポーツ推進委員は、「スポーツの推進のための事業の実施に係る連絡調整、スポーツの実技の指導など、スポーツに関する指導・助言を行うもの」とされており、本市においても地域のスポーツ活動の推進を担う人材・組織として期待されています。

現在、本市では、各地区から推薦された42人のスポーツ推進委員がおり（令和2年4月時点）、スポーツを通して健康・体力の維持増進を図り、「一市民1スポーツ」「8万人のヘルスアップ」を合言葉としてスポーツの実技指導やスポーツ推進に向けた助言や提案、スポーツ教室の企画運営など、幅広い活動を行っています。

スポーツ推進委員の活動により、スポーツの輪を市全体に広めていくことができるよう、スポーツ推進委員の周知を図るなど、推進委員が活動しやすい環境づくりを進めます。

(1) スポーツ推進委員の育成及び活動しやすい環境の整備

スポーツ推進委員は、それぞれの選出支部といった地域でのスポーツ活動の推進はもとより、市内広域にわたるスポーツ推進の役割を担っています。

本市では、「一市民1スポーツ」の推進のための指導や助言、ニュースポーツの紹介や普及などの活動を促進するため、スポーツ推進委員の研修機会の充実や、活動にあたってのスポーツ施設等の提供といった支援を行ってきました。また、地域スポーツ活動の核となる総合型地域スポーツクラブや各種団体との連絡調整の場を設け、協力体制の強化と連携を図っています。

今後も引き続き、研修の機会や活動の場の提供等により、スポーツ推進委員の資質向上と事業の発展を図るとともに、市民に対してスポーツ推進委員の役割や活動内容を広く周知していきます。また、各地域で地域に密着した活動が行えるよう、関係機関間のネットワークの構築に努めます。



スポーツ推進委員会の活動
(ビーチボール大会)



スポーツ推進委員会の活動
(スポーツフェスティバル)

施策方針2 総合型地域スポーツクラブの活動支援

総合型地域スポーツクラブとは、地域住民によって自主的・主体的に運営されるスポーツクラブのことで、身近な地域において、「誰でも」「いつでも」「好きなレベルで」スポーツに親しむことのできる場となっています。

本市では、現在4つの総合型地域スポーツクラブが活動を行っていますが、アンケート調査の結果をみると、総合型スポーツクラブの認知度は低く、名称も活動内容も知らない人が7割以上となっています。

総合型地域スポーツクラブはスポーツの振興やスポーツを通じた地域づくりなどに向けた多様な活動を展開しており、地域スポーツの担い手としての役割や地域コミュニティの核としての役割を果たしているため、その活動に対する支援の充実を推進します。

(1) 総合型地域スポーツクラブの設立支援

本市では、「認定 NPO 法人つけちスポーツクラブ」、「蛭川なんじゃもんじゃクラブ」、「NPO 法人やさかイキイキ倶楽部」、「Viva! 中津川」といった4つの総合型地域スポーツクラブが活動しています。

本市において、いつでも、どこでも、いつまでも、より多くの人々が生涯を通してスポーツを楽しめるよう、新たな総合型地域スポーツクラブの設立に向けて、積極的な情報発信や活動に対する助成などの支援を行います。

(2) 総合型地域スポーツクラブの活動支援

アンケート調査の結果では総合型地域スポーツクラブの認知度はまだまだ低い状況にありますが、地域に根差したスポーツ活動の拠点として、スポーツ推進委員とともに地域のスポーツ活動の担い手としての役割を担うことが期待されています。

総合型地域スポーツクラブに対し、県との連携により個々のクラブへの活動支援を引き続き行うとともに、より効率的・効果的な事業の実施につながるよう、組織間のネットワークの構築を目指します。

また、民間事業者の活力やノウハウにより魅力あるプログラムや質の高いサービスの提供がなされるよう、指定管理者制度への参画を促進します。



認定 NPO 法人 つけちスポーツクラブ
ホームページ



認定 NPO 法人 やさかイキイキ倶楽部
ホームページ

施策方針3 地域のスポーツ活動の推進

本市では、各地域に昔からのコミュニティが息づいており、地域交流も盛んに行われてきましたが、人々の生活様式や価値観の多様化などを背景として、本市においても、人と人のつながりや地域のつながりの希薄化が懸念されています。

地域住民がスポーツをする楽しさを共有し、世代を超えて協働することは地域コミュニティの醸成に大きな役割を果たすため、地域のスポーツイベント等を継続して開催するとともに、より多くの市民が参加しやすい仕組みを構築します。

(1) スポーツ行事の開催

本市では、各地区でスポーツイベントが計画的に実施されており、地域ごとに区民ソフトボール大会や区民マレットゴルフ大会、マラソン大会などのスポーツ行事が行われています。また、地域によっては、地域交流の促進を目的として区民運動会も行われています。

しかしながら現在は少子高齢化の影響もあり、スポーツ行事への参加者数は年々減少しているのが現状です。

スポーツ活動を通じて地域の活性化が図れるよう、スポーツ行事を継続して開催するとともに、区民のニーズに応じて種目や開催方法を見直すなど、より参加しやすい環境を整備します。

(2) 地域スポーツと企業・大学との連携

本市では、地域の発展と優れた人材の育成を目的に、中京学院大学（中津川市）、至学館大学（愛知県大府市）と相互連携協定を締結しており、本市にキャンパスを置く中京学院大学では、地域貢献の一環として、市内中学校を対象に、軟式野球部の監督・選手による地域スポーツ指導を実施しています。

スポーツを通じた地域づくりに向け、スポーツ行事の継続とともに、企業や大学と連携を行っていくことで、地域のスポーツ活動の活性化を図ります。

(3) 地域資源を活かしたスポーツ活動の推進

本市は、日本百名山の恵那山をはじめとした山々と、清流木曾川、付知川など豊かな自然資源に恵まれています。また、歴史文化資源として中山道の馬籠宿、落合宿、中津川宿の三宿があり、街道文化が栄えたまちとして今でも市内外から多くの観光客が訪れています。

こうした自然資源や歴史文化資源を活用したトレッキングや登山、ウォーキングなど、地域資源を活かしたスポーツ活動の展開に取り組むとともに、地域の特色を活かしたスポーツ活動の情報を広く市民に周知します。



基本方針3 スポーツに親しむことのできる環境の整備・充実

施策方針1 スポーツ施設・設備の整備・充実

本市には、中津川公園内の競技場や多目的広場、サンライフ中津川、加子母・付知・福岡の3地域にあるB&G海洋センターなど、多様なスポーツ施設が整備されています。

アンケート調査の結果をみると、自宅や近所の公園のほか、市内の公共スポーツ施設を活用して運動していると回答している人が多くなっており、市のスポーツ施設に対する要望としては、トレーニング施設等の充実や付帯設備の充実のほか、既存施設の改修をあげる人が多くなっています。

そのほか、ウォーキングや室内運動器具での運動を希望する人が多くなっており、市民が安心・安全・快適にスポーツを行えるよう、スポーツ施設や運動公園の整備・維持管理とともに、ウォーキングが気軽にできる環境を整備します。

(1) 安心・安全なスポーツ環境の維持

本市では利用者の安全性と利便性を考慮し、必要に応じて既存のスポーツ施設の改修・修繕を実施してきました。

市民が安心・安全にスポーツが行えるよう、今後も必要に応じて施設の改修・修繕を進めるとともに、市民のニーズに応じた施設となるよう、利便性・快適性を保ちつつ、ライフサイクルコストを考慮して計画的に整備を行います。

また、施設のバリアフリー化を推進するとともに、新たに整備を行う際には、ユニバーサルデザインの視点に配慮します。

(2) ウォーキング・ジョギングコースの活用促進

本市の総合スポーツ施設である中津川公園内には、全長約2.8kmのウォーキング・ジョギングコースが整備されています。そのほかにも、地区ごとにウォーキングコースを設定し、市民が身近で気軽にスポーツ活動に取り組める環境整備に努めてきました。

ウォーキングやジョギングはアンケート調査の結果でも関心が高く、また、初心者でも取り組みやすく続けやすいスポーツとなっていることから、地区ごとに設定したウォーキングコースの周知やコースを活用したウォーキング教室の開催等により、ウォーキング・ジョギングの推進を図ります。



体育協会主催のウォーキング教室

(3) スポーツツーリズムの拠点としての活用

近年、「スポーツで旅を楽しむ」あるいは「旅でスポーツを楽しむ」といった、スポーツと観光を融合し、新しい価値、新しい感動の提供を目指すスポーツツーリズムという動きが活発になっています。

本市には、各種スポーツ施設を備えた運動公園として中津川公園があります。中津川公園は中央自動車道中津川インターチェンジから近いという好立地にあり、公園内で平成28年から開催しているリレーマラソン大会には市外からの参加者も多くなっています。また、年に1度「FC 岐阜 中津川ホームタウンデー」を開催したり、高校野球の交流戦等を行っています。

市内へ人を呼び込むことは経済効果の拡大が期待できるため、県内有数の総合運動公園を活用して、今後も引き続き、プロスポーツの試合や合宿の誘致のほか、大規模なスポーツ大会やイベント開催の取組を検討していきます。

(4) 「市有財産（施設）運用管理マスタープラン」に基づく施設管理

本市では、少子高齢化による市民ニーズの移り変わりや、市有施設・設備の老朽化などを背景に、平成25年度に「市有財産（施設）運用管理マスタープラン」を策定しました。マスタープランは平成26年度から20年間の計画であり、5年ごとに検証・見直しを行うことが定められており、令和元年度に改訂版が策定されています。

改訂版のマスタープランでは、スポーツ施設についても施設の維持や他の施設との複合化等による効率的な維持管理と利用促進等の再編方針が示されているため、計画の方針に基づきながら、スポーツ施設の適切な維持管理を推進します。



中津川公園

施策方針2 スポーツ施設の利用促進

本市は多くのスポーツ施設や運動公園を保有しており、充実したスポーツ環境が整っていますが、多くの施設で利用者数が減少している傾向にあります。スポーツ施設の利用促進にあたっては、利用者である市民のニーズに応じた魅力ある施設であることが大切で、その上で気軽に利用できることや手軽な料金で利用できることなどが求められます。アンケート調査の結果でも約2割の人が申込みや手続きの簡素化を望んでいると回答しています。

市民にとって魅力的で利用しやすい施設となるよう、指定管理者制度等による民間の運営手法の導入や、市民の身近な場でのスポーツの場の確保、利用料金や予約方法といった利用方法の見直しなどを検討します。

(1) 地域・関係団体による指定管理

指定管理者制度は、多様化するニーズに対してより効果的・効率的に対応するため、公共施設の管理に民間の能力やノウハウを幅広く活用しつつ、サービスの質の向上を図るとともに、コストの節減等を図ることを目的とするものです。本市では適正な管理運営を確保するため、毎年度事後評価を行い、施設ごとの評価結果を公表しています。

今後も、市民の利用ニーズに応じた魅力あるスポーツ事業を効率よく展開できるよう、地域・関係団体による指定管理を促進します。

(2) 学校開放施設の活用促進

本市では、学校教育活動に支障のない時間帯に学校施設を開放し、市民の文化・スポーツ活動に活用しており、中津地区の学校開放施設については、ほぼ毎日、夜間まで多くの市民に使用されています。

スポーツ施設が充実し、多様なニーズに対応できる学校体育施設は、貴重な地域資源であるとともに、市民にとって身近な存在でもあります。学校の体育施設を有効活用し、スポーツ環境の充実に取り組むとともに、より多くの市民が利用できるような仕組みの構築に取り組めます。

■学校開放施設一覧

学校名	施設	問い合わせ	学校名	施設	問い合わせ		
東小学校	体育館	中央公民館 (0573)66-4141	山口小学校	体育館	山口総合事務所 (0573)75-2126		
	会議室		グラウンド				
南小学校	体育館		坂下小学校	体育館	坂下総合体育館 (0573)75-3335		
	音楽室		グラウンド	グラウンド			
	調理室		坂下中学校	グラウンド			
	多目的室		川上小学校	体育館	川上総合事務所 (0573)74-2111		
西小学校	体育館		グラウンド				
第一中学校	体育館		高山小学校	体育館	福岡 B&G 海洋センター (0573)72-2654		
	グラウンド		グラウンド	グラウンド			
	パソコン室		福岡小学校	体育館			
	音楽室	グラウンド	グラウンド				
	調理室	下野小学校	体育館				
第二中学校	体育館	福岡中学校	グラウンド	体育館			
	ワークスペース		グラウンド	グラウンド			
	グラウンド		テニスコート				
苗木小学校	体育館		苗木事務所 (0573)66-1301	付知北小学校		体育館	付知 B&G 海洋センター (0573)82-2005
	グラウンド			グラウンド		グラウンド	
苗木中学校	体育館		坂本事務所 (0573)68-2001	付知南小学校	第1体操場		
	グラウンド			第2体操場	グラウンド		
坂本小学校	体育館			付知中学校	体育館	グラウンド	
	グラウンド				グラウンド		
坂本中学校	体育館				付知中学校	体育館	加子母総合事務所 (0573)79-2111
	グラウンド	グラウンド					
落合小学校	体育館	落合事務所 (0573)69-3201		加子母小学校	体育館		
	グラウンド			談話室	加子母総合事務所 (0573)79-2111		
落合中学校	体育館			研修室1			
	グラウンド			研修室2			
阿木小学校	グラウンド	阿木事務所 (0573)63-2001	加子母中学校	体育館			
阿木中学校	体育館		武道館				
阿木高校	体育館		グラウンド				
神坂小学校	グラウンド		神坂事務所 (0573)69-4111	蛭川小学校	体育館	蛭川総合事務所 (0573)45-2211	
神坂中学校	体育館	卓球場					
	体育館	体育館					
グラウンド	グラウンド						

(3) 利用者ニーズに応じた施設利用方法の見直し

各スポーツ施設の予約については各施設において電話等により受付を行っており、利用方法については広報やホームページ等で周知を図っています。また、ホームページでは施設の予約状況の情報も公開しています。

今後、各施設の利用方法や予約方法等について、アンケート調査等により利用者ニーズの把握に努め、市民にとってより利用しやすくなるよう必要に応じて見直しを行います。

(4) スポーツ施設の利用料金の見直し

スポーツ施設の利用料金については、適当であるという声が多くあるものの、高いという意見もあがっています。また、市の付属機関や学校、中学生以下の子どもの団体等が利用する場合は全額減免となっています。

減免に対しては肯定的な意見が多いものの、市の財政状況や各施設に対する運営の負担状況等を考慮し、スポーツ施設の利用料金の見直しを行います。

施策方針3 スポーツ団体・指導者の育成・支援

誰もが、それぞれの体力や年齢、技術、興味、目的に応じて、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる「生涯スポーツ社会」の実現のためには、スポーツを支える人材の育成が不可欠です。

現在では、競技力向上のための高い技術指導ができる指導者だけでなく、スポーツの楽しみ方や興味・関心のわく指導ができる指導者、健康づくりや体力向上のための指導ができる指導者、さらには、技術面だけでなく、精神面での指導ができる指導者など、多様な指導者が求められているため、指導者の数を増やすとともに、幅広いニーズに対応できるよう、指導者一人ひとりの資質向上を目指します。

(1) スポーツ関係団体の活動支援

現在、本市では、中津川市体育協会をはじめ、スポーツ推進委員、総合型地域スポーツクラブ、スポーツ少年団、各競技団体等がそれぞれの専門性を活かして、様々なスポーツ活動を行っており、その活動に対する支援を行うことで、市民がスポーツに親しめる環境の充実に図ってきました。

今後も引き続き、市内のスポーツ関連団体の活動に対し、スポーツ活動の普及に関する手段や課題等の情報提供や研修機会の提供などの支援を行います。

また、より効果的・効率的な事業が展開できるよう、団体間や指導者間での情報交換・交流を促進し、相互に高め合う仕組みを構築します。

(2) スポーツ指導者登録バンクの活用

現在、本市では、スポーツ指導者登録システムを導入しておらず、学校部活動におけるスポーツ指導者が不足しています。

今後は既存の「中津川市教育人材バンク」の活用も含め、スポーツ指導者の登録バンクの設置を行い、スポーツ指導者等の派遣推進を図ります。

(3) スポーツ指導者の育成

スポーツ指導者には、競技力向上のための高い技術指導だけでなく、スポーツに興味・関心のわく指導や、技術面と精神面の両面での指導ができる指導者が求められています。

現在、本市では地域におけるスポーツの推進役として、42名（令和2年4月時点）のスポーツ推進委員がそれぞれの地域で活動していますが、スポーツ推進委員は、スポーツ大会の運営や実技指導のほか、地域におけるスポーツ活動のコーディネーターとしても期待されています。

スポーツを支える人材の確保・育成に向けて、中津川市体育協会等の各団体と連携し、スポーツ指導者やボランティアの発掘に努めるとともに、現在活動しているスポーツ指導者に対する研修機会の提供に取り組みます。

施策方針4 スポーツに関する情報やニーズの把握と活用

スポーツへの関心を高めるためには、豊富なスポーツ情報を積極的に発信し、市民が広くスポーツに親しめるようきっかけづくりを充実させていくことが求められます。

スポーツ情報の発信にあたっては、市民ニーズの把握に努めながら、必要な情報を提供していく必要があります。

また、スポーツの「楽しさ」はスポーツの価値の中核であり、スポーツを「する」だけでなく「観る」ことや、ボランティアとしてスポーツを「支える」ことなどもスポーツへの関わり方のひとつであるため、スポーツ人口の拡大に向けて、「する」「観る」「支える」といった関わり方に応じた情報発信に努めます。

(1) スポーツ情報の発信

本市では、各地域にある総合事務所・地域事務所を拠点として、各種スポーツ教室やスポーツ行事を実施しています。また、市内の総合型地域スポーツクラブ等においても、スポーツや親子でのふれあいあそび等に関する事業を実施しています。庁内体制としては、文化スポーツ部をはじめ、教育委員会、市民福祉部、商工観光部等の関係部が連携してスポーツ事業を行っています。

本市では、こうしたスポーツ活動に関する情報を集約し、広報なかつがわや市ホームページ等を活用したわかりやすい情報提供に努めてきました。

今後も引き続き、わかりやすい情報発信に努めるとともに、スポーツを「する」「観る」「支える」といった多様な関わり方ができるよう、それぞれの視点からの情報の充実を図ります。

また、アンケート調査の結果をみると、健康や体力増進に関する情報を求める人が多くっており、市民福祉部や健康推進員とも連携し、健康づくりや体力増進に関する情報の提供を推進します。

そのほか、これまでの情報発信方法に加え、時代に合わせた効率的な発信方法として、FacebookやTwitterといったソーシャルメディアの活用に向けて検討を行います。

(2) スポーツに関する市民ニーズの把握

地域でスポーツ活動を発展させていくためには、市民が参加してみたい、体験してみたいスポーツ活動などを把握し、市民のニーズに応じたスポーツ環境を整備していくことが重要です。

本市では、東京オリンピック・パラリンピックの開催を控えてオリンピックやスポーツへの関心が高まっていることを踏まえ、米国レスリングチームのホストタウンとして事前合宿を実施し、市民との交流事業などを行ってきました。

今後もアンケート調査の実施により市民ニーズを把握するとともに、スポーツ推進委員やスポーツ関連団体等との連携を図り、情報や認識の共有化を図ります。



第6章 計画の推進に向けて

1 計画の推進体制

(1) スポーツ関連団体・企業・大学との連携

市民が自身のライフステージに適したスポーツを選択して取り組むことができるよう、また、特に若い人や成人期の方にもスポーツに親しんでもらえるよう、既存のスポーツ関係団体だけでなく、企業や大学とも連携し、計画を推進します。

(2) 庁内関係部等との連携

本計画で取り扱うスポーツに関する取組は、生涯学習、学校教育、子育て支援、健康、障がい者福祉、高齢者福祉、都市整備等の多岐の分野にわたっています。文化スポーツ部が中心となり、庁内関係部等との連携を図りながら、計画を推進します。

また、令和3年現在、世界で流行している新型コロナウイルス感染症の影響により、スポーツ施設の活動が制限されるなど、これまでどおりに事業を実施することが困難な状況にあります。外出自粛の状況が続く中、運動不足やストレスが増加し、特に中高年齢者については体力の低下、生活習慣病の発症や生活機能の低下につながるリスクが高まっています。こうした状況を踏まえ、庁内の連携体制を強化し、感染症対策に十分配慮しながら、スポーツ活動の推進を図っていきます。

(3) 国や県、周辺自治体との連携

国や県との情報共有を図りながら、連携して各種スポーツ事業に取り組み、市民が様々な運動・スポーツ活動を行いやすい環境づくりを目指します。また、周辺の自治体との連携も推進し、スポーツ教室や大会の共同開催や情報交換などの連携を図ります。

2 計画の評価

基本理念の実現に向けて、計画（Plan）、実行（Do）、評価（Check）、見直し（Action）のPDCAサイクルに基づいて本計画を推進するため、市及び教育委員会で行う事業評価の仕組みを活用しながら、担当部署にて進捗状況を毎年評価し、計画期間の最終年度には数値目標の達成状況について検証を行います。



資料編

1 計画の策定経緯

日時	内容
令和2年8月～9月	市民アンケート調査・団体ヒアリング調査実施
令和2年12月	第1回策定委員会 ・委嘱書交付 ・事業概要説明 ・策定スケジュール ・骨子案について
令和3年1月	第2回策定委員会 ・素案について ※新型コロナウイルス感染症の影響により、書面表決
令和3年2月	パブリックコメントの実施（2月2日～16日）
令和3年2月	第3回策定委員会 ・パブリックコメント結果について
令和3年3月	中津川市教育委員会（議案承認）

2 計画の策定体制

中津川市スポーツ推進計画策定委員会

役職	氏名	所属	委嘱区分
委員長	丸山 充信	中津川市体育協会	社会体育団体
副委員長	伊藤 広幸	中津川市スポーツ推進委員	
委員	田口 郁代	中津川市スポーツ推進委員	
委員	曾我 啓次	総合型地域スポーツクラブ	
委員	日室 年通	中津川市スポーツ少年団	
委員	田口 恵美子	中津川市レクリエーション協会	
委員	安江 和実	中津川市老人クラブ連合会	関係団体
委員	志津 好則	岐阜県身体障害者福祉協会中津川支部	
委員	石川 哲也	学識経験者	学識経験者
委員	田島 雅子	中津川市教育委員会	
委員	小南 達成	中津川市中学校体育連盟	学校体育関係

3 アンケート調査票

スポーツに関するアンケート調査のお願い

日ごろは、中津川市のスポーツ推進にご理解とご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

さて、平成23年8月に「スポーツ基本法」が制定され、国民のスポーツ振興策が定められました。そこで、中津川市のスポーツ振興の基本的な方針となる「中津川市スポーツ推進計画」を平成27年に策定し、総合的かつ計画的にスポーツの振興に取り組んできました。

このたび、計画策定から5年が経過し、計画期間の中間年を迎えることから、計画の中間見直しを行うこととなりました。

つきましては、市民の皆さまのスポーツ活動の状況や本市のスポーツ施策についてのご意見等をお聞かせいただき、計画の見直しに活用することを目的として、アンケート調査を実施いたします。実施にあたっては、20歳以上の市民2,000人を無作為で抽出して配付しています。この調査は、個人を特定しませんので、個人情報が増えることは一切ありません。

ご多忙中、誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和2年8月

中津川市長 青山 節児

<ご記入にあたってのお願い>

- この調査は、個人の方を対象にしています。あなた（封筒あて名の方）ご自身の考えをお答えください。本人の記入が難しい場合は、家族の方などが本人の立場で、意思を反映してご記入をお願いします。
- 問いに対する答えは、あてはまる番号に○を付けてください。また、答えの数は1つだけのもの、複数を選ぶものがありますのでご注意ください。回答で「その他」に該当する場合は、()内もご記入ください。
- 一部の方だけに答えていただく質問もあります。その場合は、説明にしたがってお答えください。
- 記入は、黒のボールペン又は鉛筆でお願いします。
- ご記入後は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、**9月2日（水）までに**ポストに投函してくださるようお願いいたします。

アンケート調査に関するご質問、ご意見は…

〒508-0032 中津川市栄町1番1号 にぎわいプラザ4階

中津川市役所 文化スポーツ部 生涯学習スポーツ課

電話：0573-66-1111（代）

FAX：0573-65-5795

1. ご自身のスポーツ活動について

問1 性別をご記入ください。(○は1つ) ※自認する性別をお答えください。

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問2 年代をご記入ください。(○は1つ) (令和2年8月1日現在)

- | | | |
|---------|---------|----------|
| 1. 20歳代 | 2. 30歳代 | 3. 40歳代 |
| 4. 50歳代 | 5. 60歳代 | 6. 70歳以上 |

問3 住んでいる地区を次の中から選んでください。(○は1つ)

- | | | |
|-----------|----------|----------|
| 1. 中津地区 | 2. 苗木地区 | 3. 坂本地区 |
| 4. 落合地区 | 5. 阿木地区 | 6. 神坂地区 |
| 7. 山口地区 | 8. 坂下地区 | 9. 川上地区 |
| 10. 加子母地区 | 11. 付知地区 | 12. 福岡地区 |
| 13. 蛭川地区 | | |

問4 あなたは、普段、運動不足を感じますか。(○は1つ)

- | | | |
|-------------|------------|------------|
| 1. 大いに感じる | 2. ある程度感じる | 3. あまり感じない |
| 4. ほとんど感じない | 5. 分からない | |

問5 この1年間に行ったスポーツや運動を選んでください。

(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|---------------------------|-----------------|--------------------|
| 1. ウォーキング | 2. ジョギング(ランニング) | 3. 室内運動器具で運動 |
| 4. 体操 | 5. 水泳 | 6. ボウリング |
| 7. エアロビ・ダンス(踊り) | 8. バレーボール | 9. テニス |
| 10. 卓球 | 11. ゲートボール | 12. グラウンドゴルフ |
| 13. マレットゴルフ | 14. ゴルフ | 15. 筋トレ |
| 16. 軽スポーツ(ソフトバレー・インディアカ等) | | 17. バドミントン |
| 18. ソフトボール | 19. 野球 | 20. サッカー |
| 21. 剣道 | 22. 柔道 | 23. 空手 |
| 24. バスケットボール | 25. 登山 | 26. 陸上(トラック・フィールド) |
| 27. マラソン・駅伝 | 28. 水中運動 | 29. サイクリング |
| 30. スキー・スノボ | 31. その他() | |

問6～問13は、新型コロナウイルス感染症対策による外出自粛期間以前の生活状況を基準として回答いただきますよう、お願い申し上げます。

問6 どれくらいの割合でスポーツや運動をしますか。(〇は1つ)

1. 毎日	2. 週に3回以上	} ⇒問12へ
3. 週に1回くらい		
4. 月に1～3回	5. 半年に1～3回	} ⇒問7へ
6. 年に1～3回	7. 運動していない	

問7 問6で「4」～「7」と回答した方のみお答えください。

週に1回以上スポーツや運動が実施できなかった理由は何ですか。

(あてはまるものすべてに〇)

1. 仕事や家事が忙しいから	2. 子どもに手がかかるから
3. 病気やけがをしているから	4. 年をとったから
5. 場所や施設がないから	6. 仲間がないから
7. 指導者がいないから	8. お金に余裕がないから
9. 運動やスポーツが嫌いだから	10. 面倒くさいから
11. 運動やスポーツ以上に大切なことがあるから	12. 生活や仕事で体を動かしているから
13. その他()	14. 特に理由はない

問8 問6で「4」～「7」と回答した方のみお答えください。

できれば定期的にスポーツや運動をしたいと思われますか。(〇は1つ)

1. 思う ⇒問9へ	2. 思わない ⇒問12へ
------------	---------------

問9 問8で「1」と回答した方のみお答えください。

スポーツや運動はどのように行いたいですか。(〇は2つまで)

1. 自分1人で	2. 家族と
3. 職場の同僚や仲間	4. 同じ地域の人と
5. クラブや同好会に加入して	6. その他()

問10 問8で「1」と回答した方のみお答えください。

スポーツや運動をやってみたいと思う理由は何ですか。(〇は2つまで)

1. 健康のため	2. 体力増進・維持のため
3. 筋力増進・維持のため	4. 楽しみ、気晴らしとして
5. 運動不足を感じるから	6. 精神の修養や訓練のため
7. 自己の記録や能力を向上させるため	8. 家族のふれあいとして
9. 友人・仲間との交流として	10. 美容のため
11. 肥満解消、ダイエットのため	12. 医師、保健師などからの指導
13. その他()	14. 特に理由はない

問 11 問 8 で「1」と回答した方のみお答えください。

今後行ってみたいスポーツや運動を選んでください。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|---------------------------|-----------------|--------------------|
| 1. ウォーキング | 2. ジョギング(ランニング) | 3. 室内運動器具で運動 |
| 4. 体操 | 5. 水泳 | 6. ボウリング |
| 7. エアロビ・ダンス(踊り) | 8. バレーボール | 9. テニス |
| 10. 卓球 | 11. ゲートボール | 12. グラウンドゴルフ |
| 13. マレットゴルフ | 14. ゴルフ | 15. 筋トレ |
| 16. 軽スポーツ(ソフトバレー・インディアカ等) | | 17. バドミントン |
| 18. ソフトボール | 19. 野球 | 20. サッカー |
| 21. 剣道 | 22. 柔道 | 23. 空手 |
| 24. バスケットボール | 25. 登山 | 26. 陸上(トラック・フィールド) |
| 27. マラソン・駅伝 | 28. 水中運動 | 29. サイクリング |

問 12 問 6 で「1」～「6」と回答した方のみお答えください。

この1年間に、あなたがスポーツや運動を実施したのはどのような理由からですか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1. 健康のため | 2. 体力増進・維持のため |
| 3. 筋力増進・維持のため | 4. 楽しみ、気晴らしとして |
| 5. 運動不足を感じるから | 6. 精神の修養や訓練のため |
| 7. 自己の記録や能力を向上させるため | 8. 家族のふれあいとして |
| 9. 友人・仲間との交流として | 10. 美容のため |
| 11. 肥満解消、ダイエットのため | 12. 医師、保健師などからの指導 |
| 13. その他() | 14. 特に理由はない |

問 13 問 6 で「1」～「6」と回答した方のみお答えください。

あなたは、主にどこでスポーツや運動を行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. 市内の公共スポーツ施設 | 2. 市外の公共スポーツ施設 |
| 3. 民間のスポーツ施設 | 4. 学校のスポーツ施設 |
| 5. 職場の体育施設 | 6. 自宅や近所の公園 |
| 7. その他() | |

問 14 新型コロナウイルス感染症の影響により、スポーツや運動を行う頻度に変化はありましたか。(○は1つ)

- | | | |
|--------|--------|----------|
| 1. 増えた | 2. 減った | 3. 変わらない |
|--------|--------|----------|

問 15 新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、活動自粛中に新たに取り組み始めた又は今後取り組みたいスポーツや運動はありますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | | |
|-----------------|-----------------|--------------|
| 1. ウォーキング | 2. ジョギング（ランニング） | 3. 室内運動器具で運動 |
| 4. 筋トレ | 5. ストレッチ | 6. ヨガ |
| 7. エアロビ・ダンス（踊り） | 8. その他（ | ） 9. 特にない |

2. 地域でのスポーツ活動について

問 16 あなたはスポーツクラブやチーム、愛好会などの団体に所属していますか。
（○は1つ）

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. している ⇒問 17 へ | 2. していない ⇒問 18 へ |
|-----------------|------------------|

問 17 問 16 で「1」と回答した方のみお答えください。

スポーツ団体に加入した動機は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

- | |
|---------------------------|
| 1. スポーツを継続的に行うことができるから |
| 2. 友達や仲間と交流することができるから |
| 3. 健康の維持や体力の増進に役立つから |
| 4. スポーツをすることが好きだから |
| 5. スポーツを指導してくれる人がいるから |
| 6. 運動機器・器具や施設が完備されているから |
| 7. 施設や場所を優先的に利用することができるから |
| 8. その他（ |
| ） |
| 9. 特に理由はない |

問 18 スポーツや運動を行うにあたって、どのようなスポーツ指導者が必要だと思われるか。（○は2つまで）

- | |
|---------------------------------------|
| 1. スポーツの楽しみ方やスポーツへの興味・関心がわくような指導ができる人 |
| 2. 健康・体力づくりのための運動やスポーツの指導ができる人 |
| 3. 障がい者や高齢者へのスポーツ指導ができる人 |
| 4. 競技力向上のための高度な技術指導ができる人 |
| 5. 年間を通して定期的に指導ができる人 |
| 6. いろいろな軽スポーツ（ソフトバレー・インディアカ等）の指導ができる人 |
| 7. 応急処置などの資格を持っている人 |
| 8. その他（ |
| ） |
| 9. わからない |

問 19 市内にある「総合型地域スポーツクラブ（いつでも、どこでも、だれもが、日常的なかで継続してスポーツを行うことができる、地域の人たち一人ひとりがつくりあげるクラブ）」について知っていますか。（○は1つ）

1. 名称も活動内容も知っている
2. 名称は聞いたことはあるが活動内容は知らない
3. 名称も活動内容も知らない

問 20 過去3年間にスポーツボランティアやスポーツ以外のボランティア活動に参加したことがありますか。（○は1つ）

1. いずれも参加したことがある
2. スポーツボランティア活動に参加したことがある
3. スポーツ以外のボランティア活動に参加したことがある
4. いずれの活動にも参加したことがない

問 21 次のスポーツボランティア活動のうち、あなたの関心があるものはどれですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 地域のスポーツ活動などの運営や支援（クラブ、スポーツ団体等の活動）
2. ご家族のスポーツや運動の部活動やクラブ等の運営や支援
3. スポーツイベントのボランティア（スポーツ大会などの不定期的な活動）
4. その他（）
5. スポーツボランティア活動に関心はない

3. 観る・応援するスポーツについて

問 22 あなたは、スポーツを観ることが好きですか。（○は1つ）

1. 好き
2. どちらかといえば好き
3. どちらかといえば嫌い
4. 嫌い

問 23 市内で観戦するなら、どんなスポーツ観戦を望んでいますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | | |
|--------------|---|------------|
| 1. 野球 | 2. サッカー | 3. バレーボール |
| 4. テニス | 5. 卓球 | 6. レスリング |
| 7. エアロビ・ダンス | 8. 柔道 | 9. 剣道 |
| 10. 空手 | 11. 相撲 | 12. ゴルフ |
| 13. マラソン・駅伝 | 14. 自転車競技 | 15. バドミントン |
| 16. バスケットボール | 17. 陸上（トラック・フィールド） | 18. ソフトボール |
| 19. 体操 | 20. その他（ ） | 21. 特にない |

問 24 直接試合会場で観戦をする際、どんなスポーツを観戦したいですか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------------|---|
| 1. 自分の仲間たち（同好会）のスポーツを観たい | |
| 2. 自分がやっていないスポーツを観たい | |
| 3. 障がい者や高齢者のスポーツを観たい | |
| 4. 学生などのアマチュアスポーツを観たい | |
| 5. 国内のプロスポーツを観たい | |
| 6. 国際的なスポーツを観たい | |
| 7. その他（ | ） |
| 8. 特にない | |

4. 中津川市のスポーツ施策について

問 25 あなたは、スポーツをしたいとき、情報をどのように入手していますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------------------------|------------------|
| 1. テレビ・ラジオ | 2. 新聞・雑誌・書籍 |
| 3. かわうえケーブルテレビ | 4. インターネット |
| 5. SNS (Facebook、Twitter、Instgram) | 6. 病院・診療所 |
| 7. 職場や学校での健康教育・指導 | 8. 医師、保健師などからの指導 |
| 9. 広報なかつかわ | 10. 市のホームページ |
| 11. 市スポーツ担当課又はスポーツ施設へ
直接問合せ | 12. 県の広報 |
| 13. 家族や友人 | 14. その他（ |
| 15. 特にない | ） |

問 26 市が行うスポーツに関する情報提供に何を望みますか。（○は2つまで）

- | | |
|-----------------------|--------------------|
| 1. 健康や体力増進に関するもの | 2. 施設の紹介、利用方法 |
| 3. スポーツ教室や行事の紹介、申込み方法 | 4. スポーツイベント、大会の紹介 |
| 5. スポーツ指導者の紹介 | 6. 市内で活躍するスポーツ選手紹介 |
| 7. その他（ | ） |
| 8. 特に何も望まない | |

問 27 運動やスポーツ活動で、市のスポーツ施設を利用したことがありますか。
(○は1つ)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 利用したことがある | 2. 利用したことがない |
|--------------|--------------|

問 28 今後、市のスポーツ施設に求めることはなんですか。(○は3つまで)

1. 既存施設の改修	2. トレーニング設備等の充実
3. シャワー・駐車場等、付帯設備の充実	4. 既存施設へのアクセスの向上
5. 申込みや手続きの簡素化	6. 託児施設の充実
7. スタッフや指導者の充実	8. 職員の親切な対応
9. 健康・運動に関する相談対応	10. 雑談や休息ができる場の充実
11. 教室やイベント内容の充実	12. 施設情報に関する広報の充実
13. その他()	14. 特にない

問 29 あなたは、市のスポーツ振興に対して何を望みますか。(○は2つまで)

1. 健康づくりや体力づくりに重点をおいたスポーツ振興	
2. 年齢・体力・技術に応じたスポーツ教室やスポーツ行事の充実	
3. レベルの高いスポーツイベントの誘致・開催	
4. スポーツ指導者の育成	5. スポーツ施設の整備・充実
6. 子どもの体力向上	7. 競技力の向上
8. 全国・世界に通用する選手の育成	9. スポーツボランティア活動体制の整備
10. 障がい者スポーツの振興	11. その他()
12. 特に何も望まない	

問 30 市のスポーツ行政にご意見・ご要望がありましたらご記入ください。

問 31 新型コロナウイルス感染症防止のため、スポーツ施設利用制限等が実施されている状況ですが、スポーツ活動継続のためのご意見がありましたらご記入ください。

アンケート調査は以上です。ご協力いただき、ありがとうございました。
この調査票は、同封の返信用封筒に入れ、9月2日(水)までにご返送ください。

(切手は不要です。)

中津川市スポーツ推進計画
中間見直し



スポーツで人と地域が
かがやくまち なかつがわ

発行日：令和3年3月

発行・編集：中津川市文化スポーツ部生涯学習スポーツ課
〒508-0032 岐阜県中津川市栄町1番1号 にぎわいプラザ
電話：0573-66-1111(代表) FAX：0573-65-5795
E-mail shogai-sp@city.nakatsugawa.lg.jp
<http://www.city.nakatsugawa.gifu.jp>